

第3章

子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

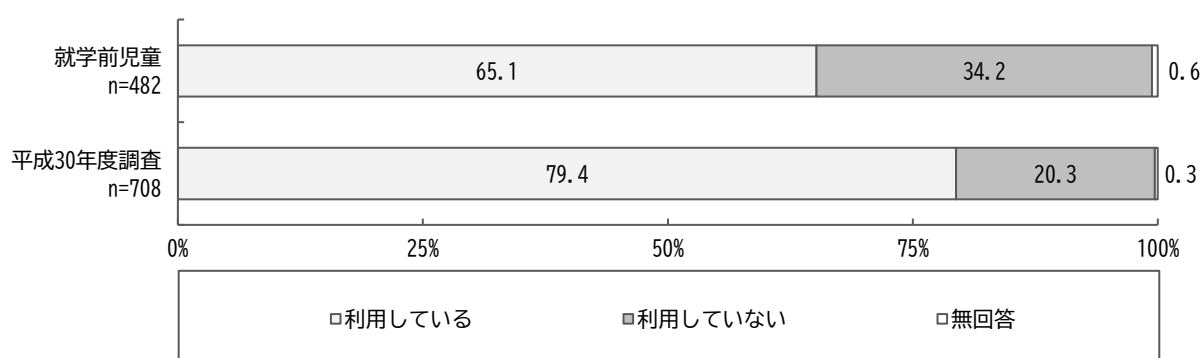
1 就学前児童の平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業

○定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が約7割となっています。

○前回調査と比較すると、14.3^{ポイント}減少しています。

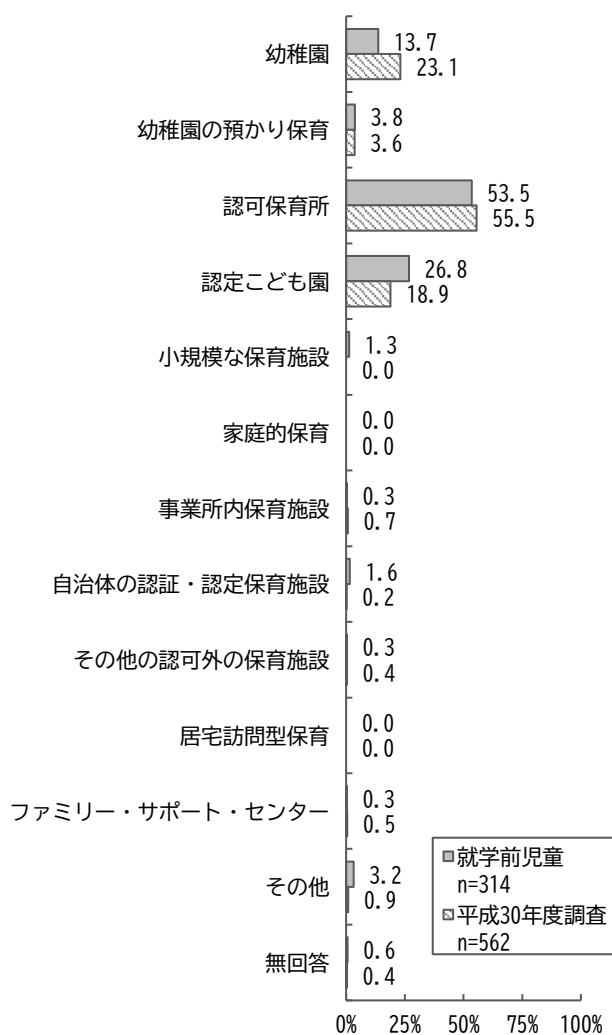
問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



○利用中の事業をみると、「認可保育所」(53.5%)が最も高く、次いで「認定こども園」(26.8%)、「幼稚園」(13.7%)となっています。

○前回調査と比較すると、特に「認定こども園」の割合が増加し、「幼稚園」の割合が減少しています。

問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況



※平成30年度調査の「認可保育所」の数値は、「公立の認可保育園」「私立の認可保育園」の合計値

○就学前児童の年代別の利用状況をみると、すべての年代で「認可保育所」が最も高くなっています。

問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況(年齢別)

単位 (%)

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
0歳(n=5)	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0
1歳(n=38)	-	-	68.4	26.3	-	-	-
2歳(n=40)	5.0	-	57.5	27.5	5.0	-	-
3歳(n=46)	21.7	4.3	52.2	21.7	-	-	-
4歳(n=51)	17.6	3.9	49.0	29.4	2.0	-	-
5歳(n=65)	15.4	9.2	50.8	26.2	1.5	-	-
6歳(n=54)	16.7	3.7	55.6	25.9	-	-	-

※0歳については、回答者が少数のため、掲載していません。(以下略)

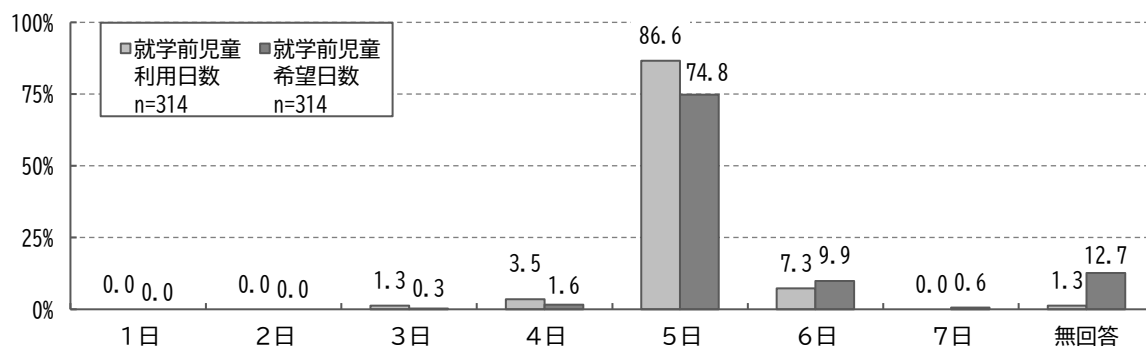
単位 (%)

	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
0歳(n=5)	20.0	-	-	-	-	20.0
1歳(n=38)	-	-	-	-	5.3	-
2歳(n=40)	2.5	-	-	-	2.5	-
3歳(n=46)	-	2.2	-	-	4.3	-
4歳(n=51)	-	-	-	-	3.9	-
5歳(n=65)	3.1	-	-	1.5	3.1	1.5
6歳(n=54)	1.9	-	-	-	1.9	-

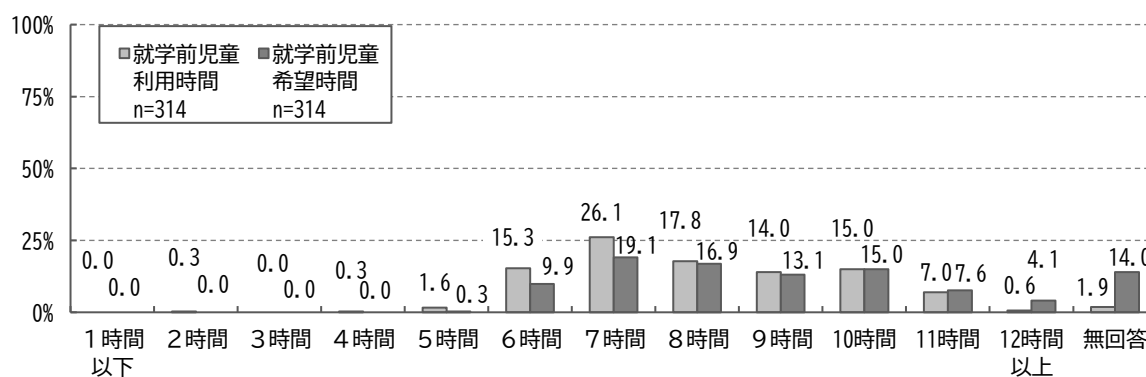
○定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数、希望日数いずれも「5日」(利用日数86.6%、希望日数74.8%)が最も高くなっています。

○1日当たりの利用時間と希望時間をみると、利用時間、希望時間いずれも「7時間」(利用時間26.1%、希望時間数19.1%)が最も高く、次いで「8時間」(利用時間17.8%、希望時間数16.9%)となっています。

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)

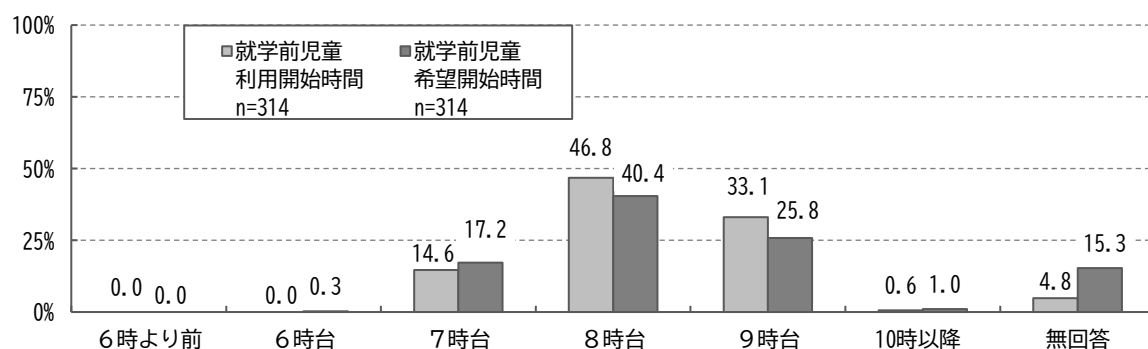


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)

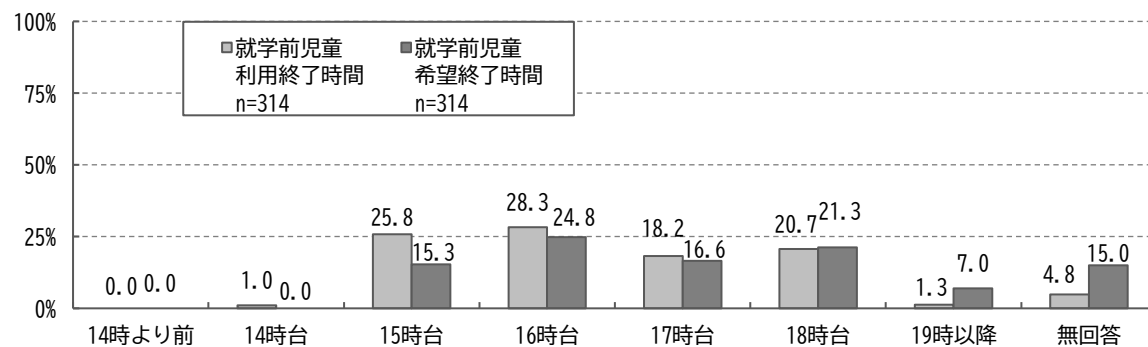


- 定期的な教育・保育事業の利用開始時間と希望開始時間をみると、利用開始時間、希望開始時間いずれも「8時台」（利用開始時間46.8%、希望開始時間40.4%）が最も高く、次いで「9時台」（利用開始時間33.1%、希望開始時間25.8%）となっています。
- 定期的な教育・保育事業の利用終了時間と希望終了時間をみると、利用終了時間、希望終了時間いずれも「16時台」（利用終了時間28.3%、希望終了時間24.8%）が最も高く、次いで利用終了時間では「15時台」（25.8%）、希望終了時間では「18時台」（21.3%）となっています。

問14-2(1)(2) 利用開始時間 希望開始時間



問14-2(1)(2) 利用終了時間 希望終了時間



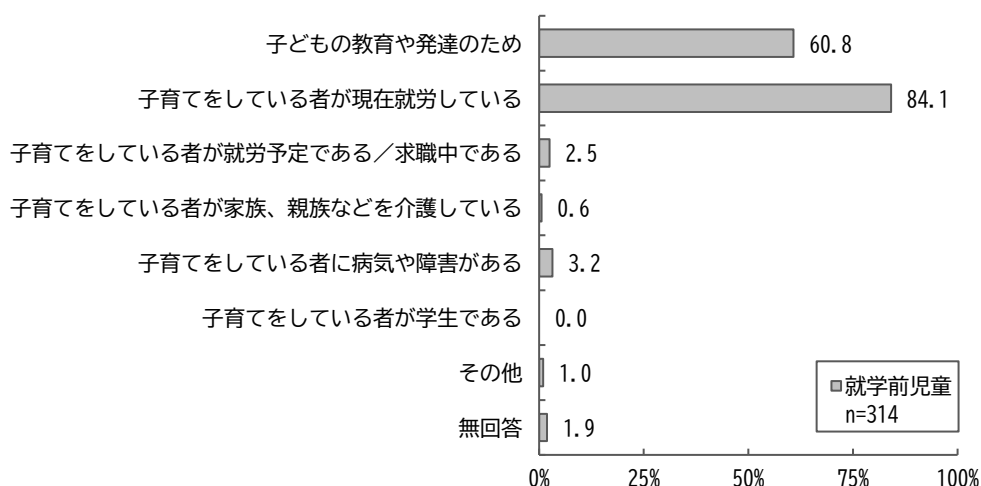
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育てをしている者が現在就労している」(84.1%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(60.8%)となっています。

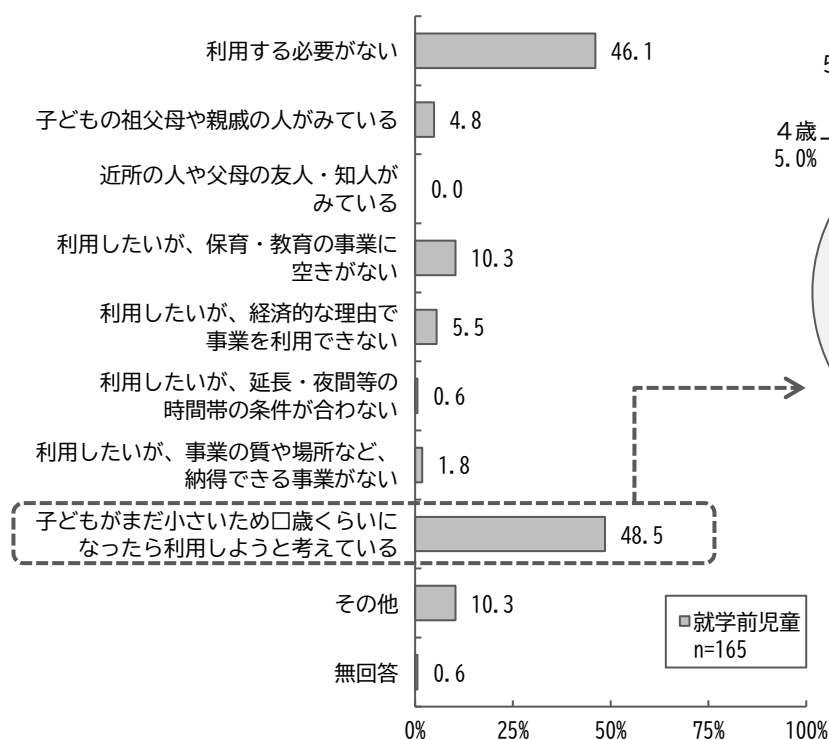
○平日に教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため(□□歳くらいになったら利用しようと考えている)」(48.5%)が最も高く、次いで「利用する必要がない」(46.1%)となっています。

○「子どもがまだ小さいため(□□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人が、教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢をみると、就学前児童では、「3歳」(45.0%)が最も高くなっています。

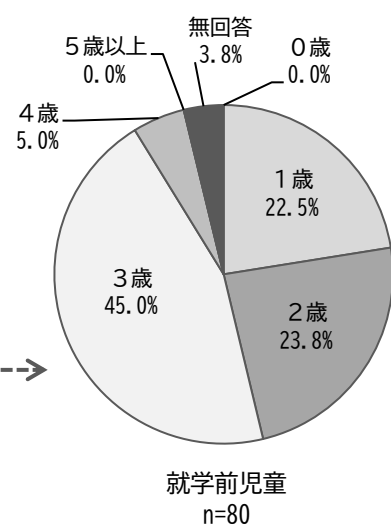
問14-4 平日に教育・保育事業を利用している理由



問14-5 教育・保育事業を利用していない理由



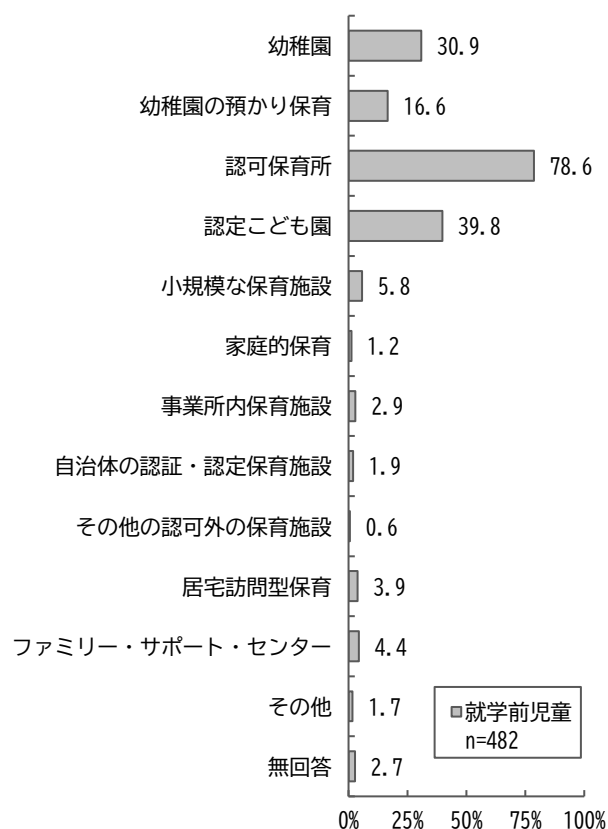
問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢



○希望する定期的な事業をみると、「認可保育所」(78.6%)が最も高く、次いで「認定こども園」(39.8%)、「幼稚園」(30.9%)となっています。

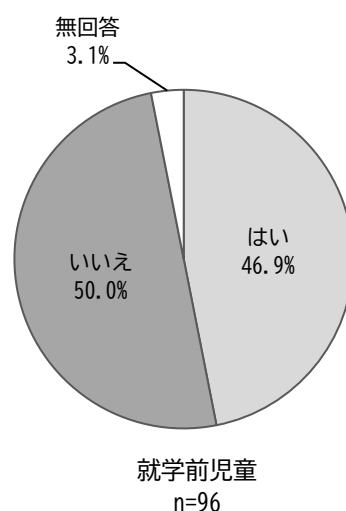
○定期的な教育・保育事業として、「幼稚園」や「幼稚園の預かり保育」と合わせてほかの事業の利用も希望される方のうち、特に「幼稚園」の利用を強く希望している方は、約5割となっています。

問15 希望する定期的な教育・保育事業



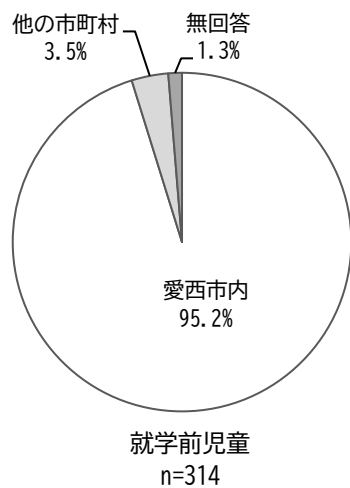
※「認可保育所」は「公立の認可保育所」と「私立の認可保育所」の合計

問15-2 幼稚園の利用を強く希望

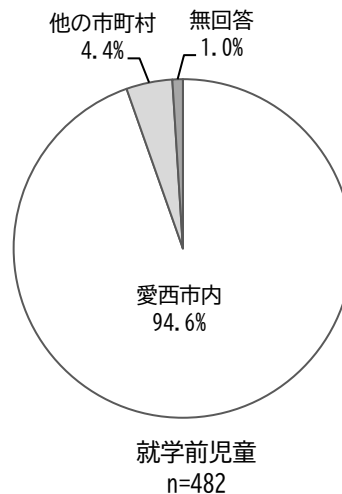


○現在平日に利用している教育・保育事業の実施場所と希望実施場所をみると、就学前児童では、実施場所、希望実施場所いずれも「愛西市内」が9割以上となっています。

問14-3 教育・保育事業の実施場所



問15-1 教育・保育事業の希望実施場所

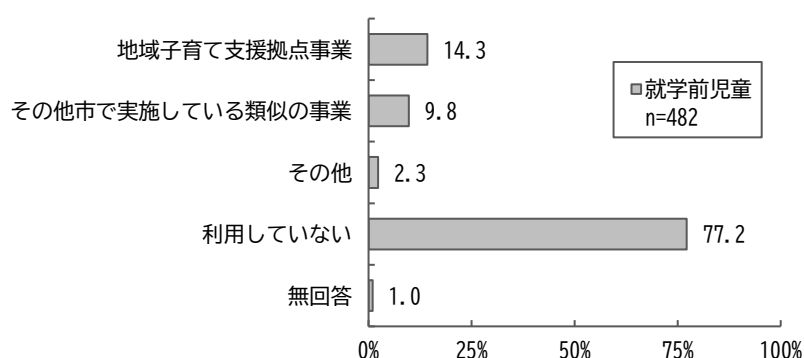


2 就学前児童の地域の子育て支援事業の利用状況

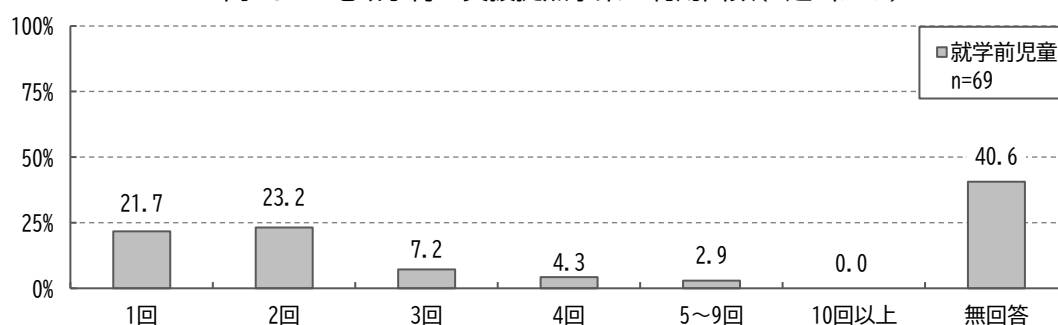
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

- 「地域子育て支援拠点事業」の利用割合は14.3%となっています。
- 「地域子育て支援拠点事業」利用者の1週当たりの利用回数をみると、「2回」(23.2%)が最も高く、次いで「1回」(21.7%)となっています。
- 「地域子育て支援拠点事業」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(18.8%)が最も高く、次いで「2回」(17.4%)となっています。

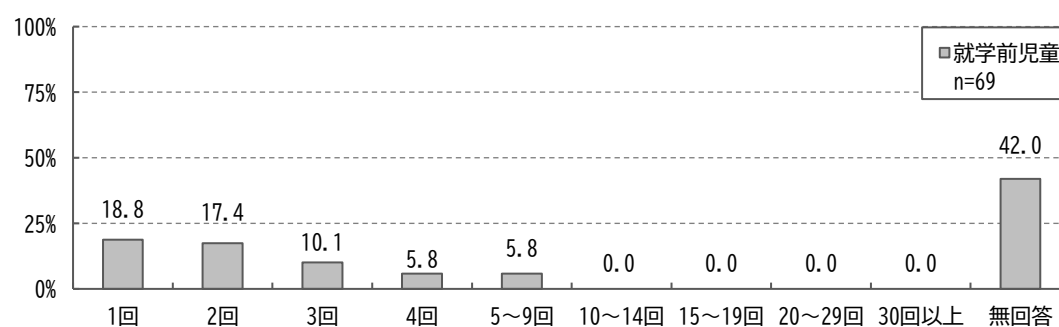
問16 地域子育て支援拠点事業の利用状況



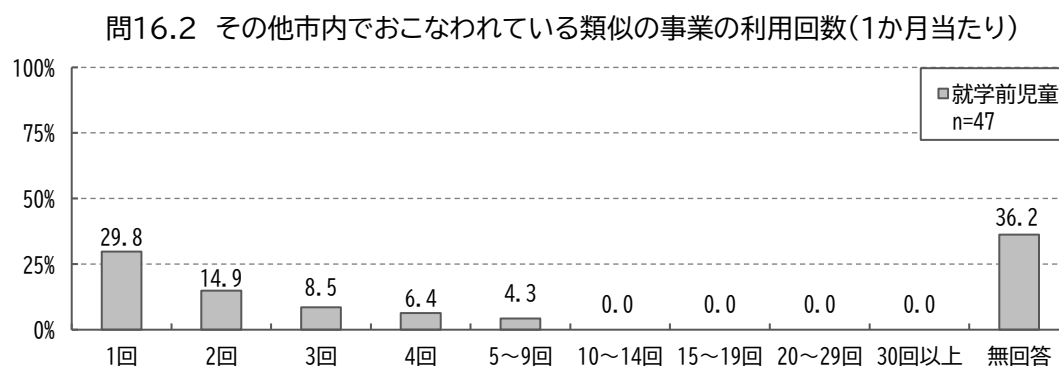
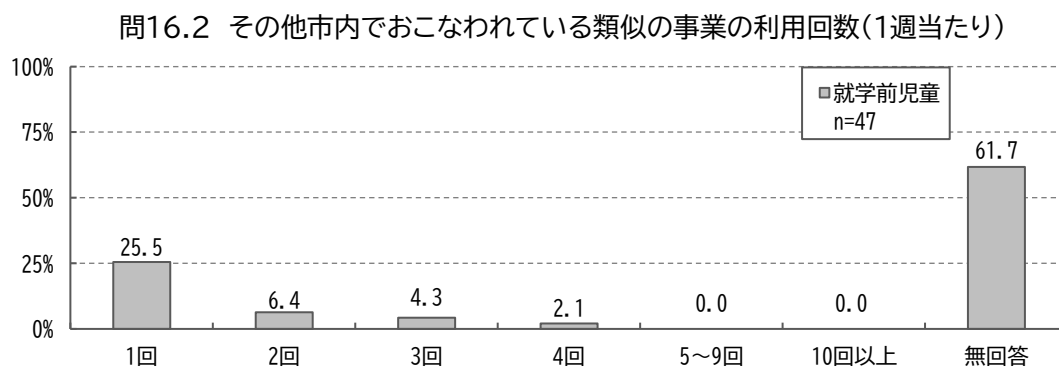
問16.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数(1週当たり)



問16.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数(1か月当たり)



- 「その他市内でおこなわれている類似の事業」利用者の1週当たりの利用回数をみると、「1回」(25.5%)が最も高くなっています。
- 「その他市内でおこなわれている類似の事業」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(29.8%)が最も高くなっています。



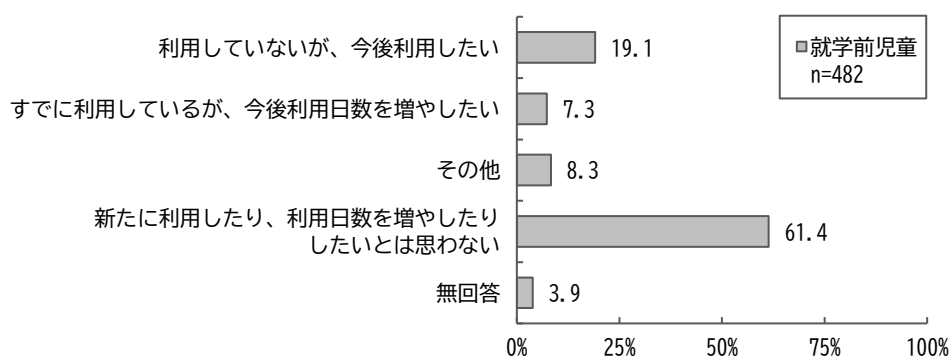
(2) 今後の利用意向

○地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が6割近くを占めています。

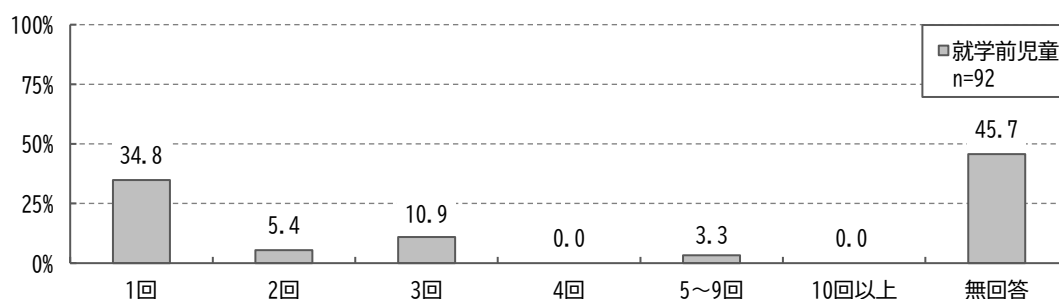
○未利用者の今後の1週当たりの利用希望回数をみると、「1回」(34.8%)が最も高く、次いで「3回」(10.9%)となっています。

○未利用者の今後の1か月当たりの利用希望回数をみると、「1回」(22.8%)が最も高く、次いで「2回」(16.3%)となっています。

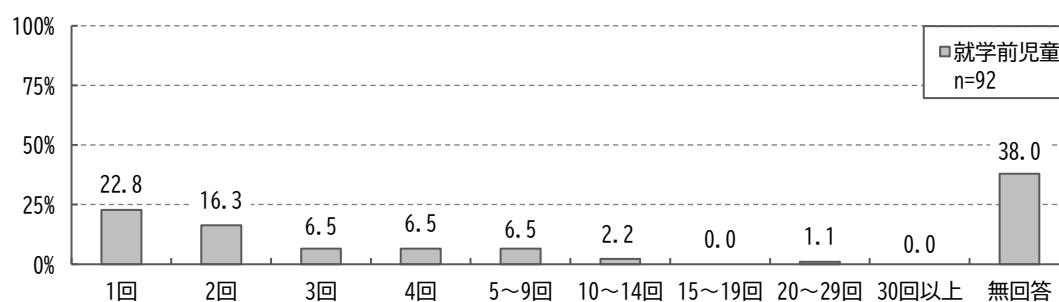
問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問17.1 未利用者の今後の利用希望回数 地域子育て支援拠点事業（1週当たり）



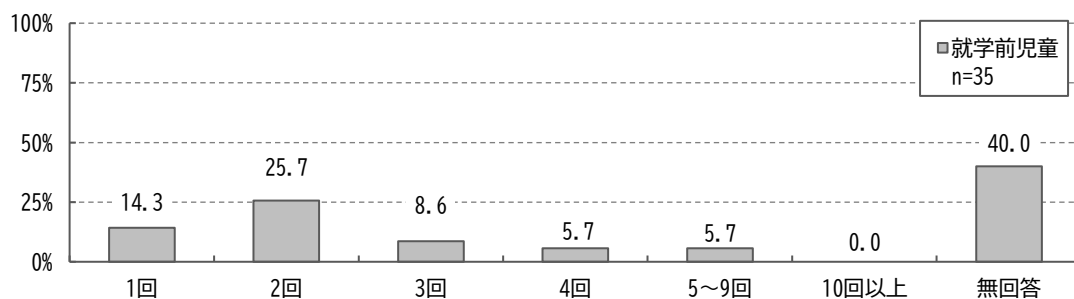
問17.1 未利用者の今後の利用希望回数 地域子育て支援拠点事業（1か月当たり）



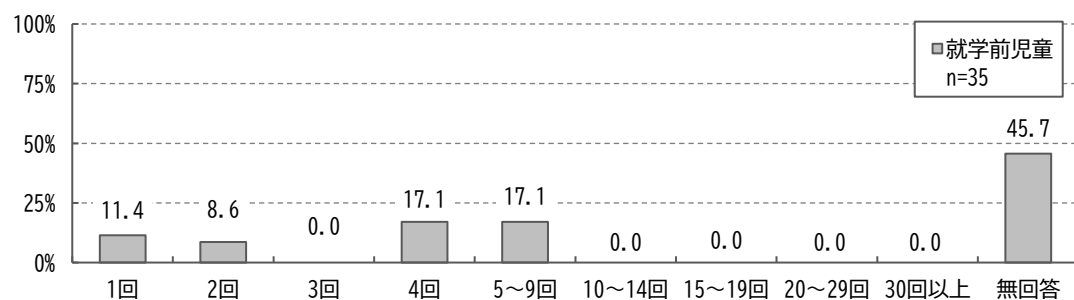
○既利用者が今後増やしたい1週当たりの利用回数をみると、「2回」(25.7%)が最も高く、次いで「1回」(14.3%)となっています。

○既利用者が今後増やしたい1か月当たりの利用回数をみると、「4回」「5～9回」(各17.1%)が最も高く、次いで「1回」(11.4%)となっています。

問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数(1週当たり)



問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数(1か月当たり)



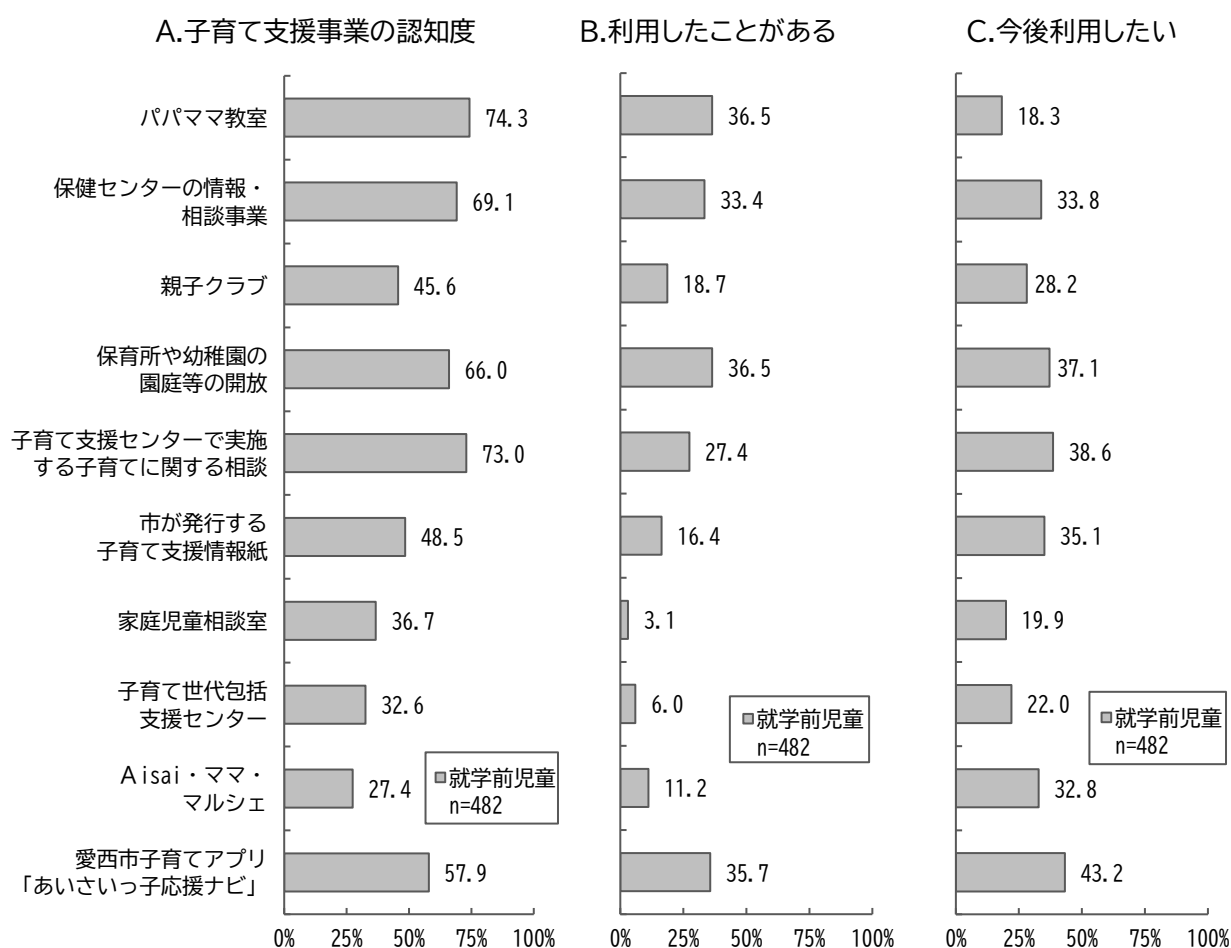
(3) 子育て支援事業の認知度、利用状況と今後の利用意向について

○子育て支援事業の認知度をみると、「パパママ教室」(74.3%)が最も高く、次いで「子育て支援センターで実施する子育てに関する相談」(73.0%)、「保健センターの情報・相談事業」(69.1%)となっています。

○子育て支援事業の利用状況をみると、「パパママ教室」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(各36.5%)が最も高く、次いで「保健センターの情報・相談事業」(33.4%)となっています。

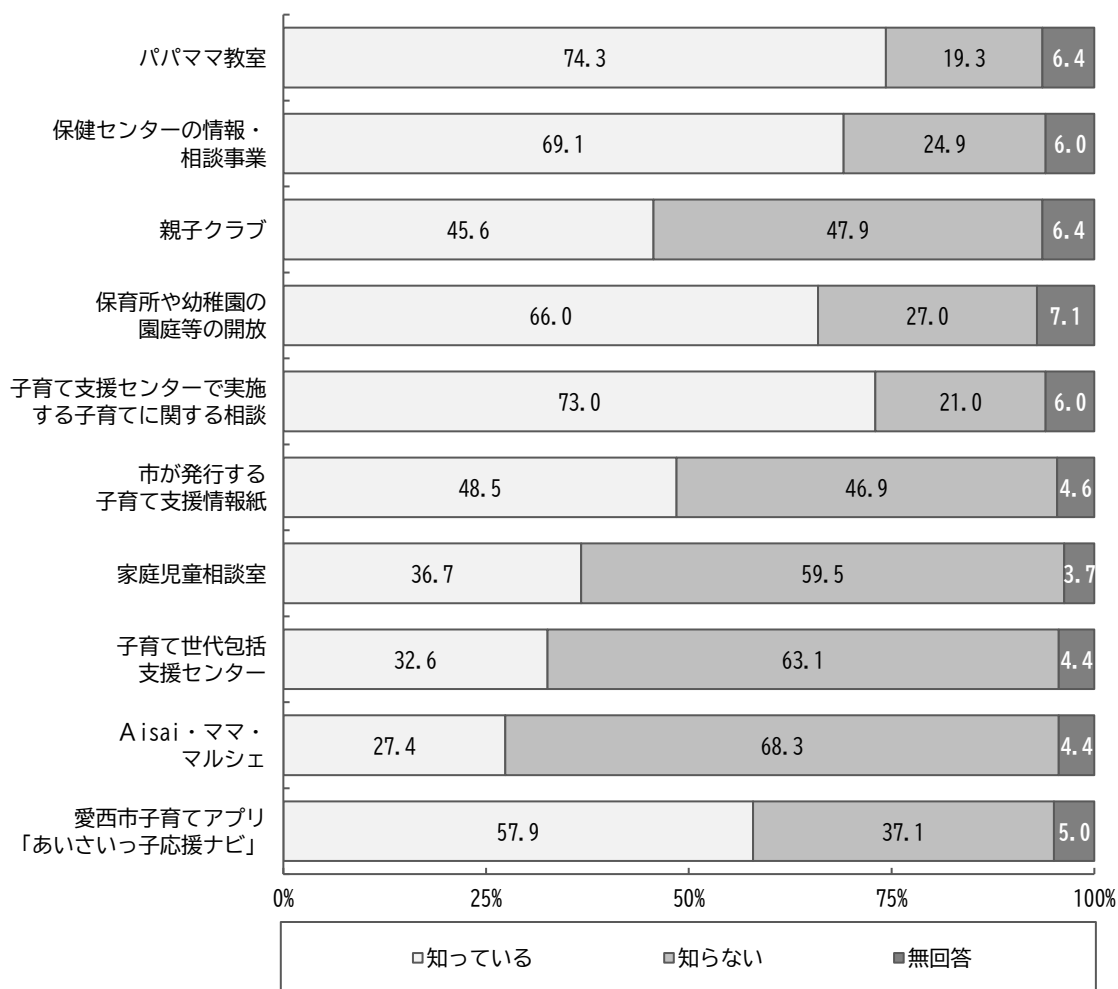
○子育て支援事業の利用意向をみると、「子育て支援センターで実施する子育てに関する相談」(38.6%)が最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(37.1%)、「市が発行する子育て支援情報紙」(35.1%)となっています。

問18 子育て支援事業の認知度、利用状況、今後の利用意向



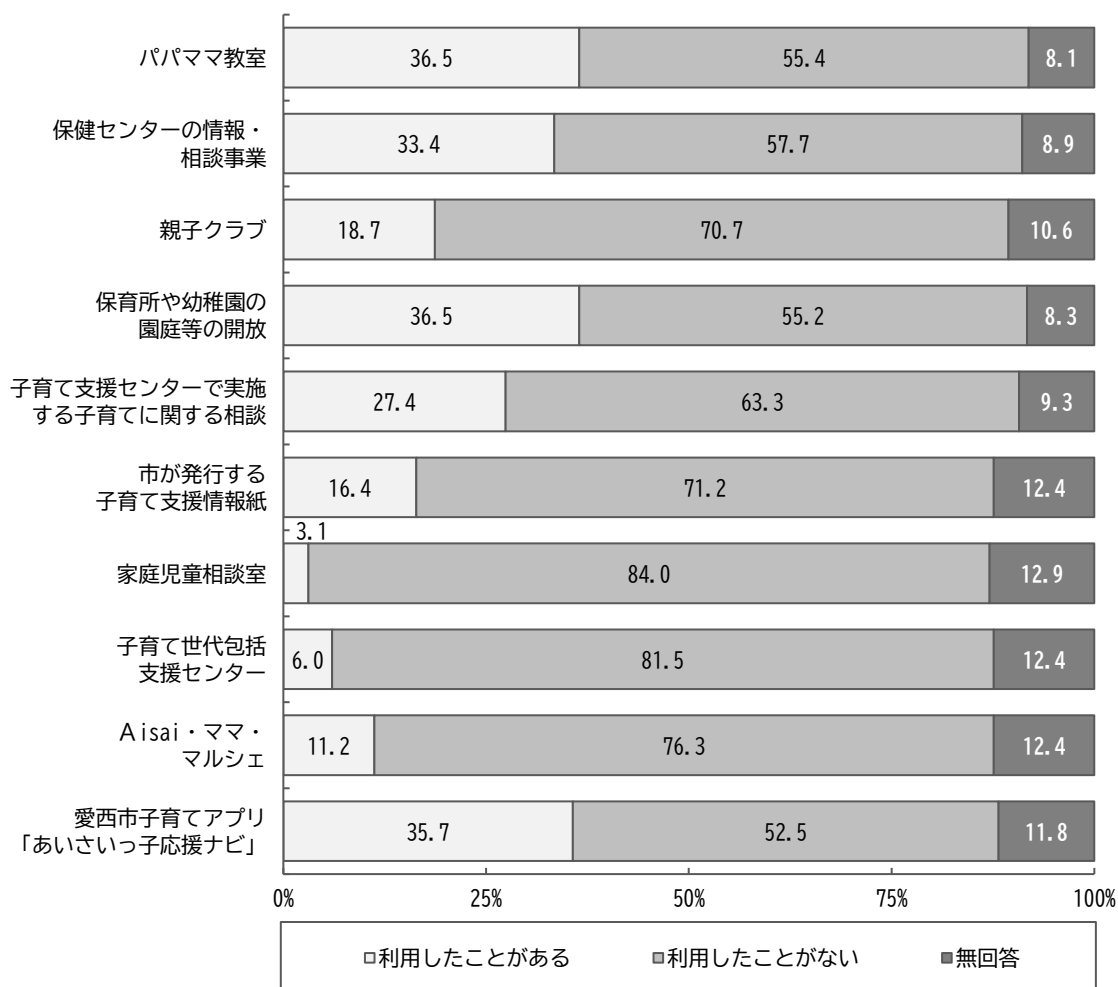
問18 A 子育て支援事業の認知度

就学前児童 n=482



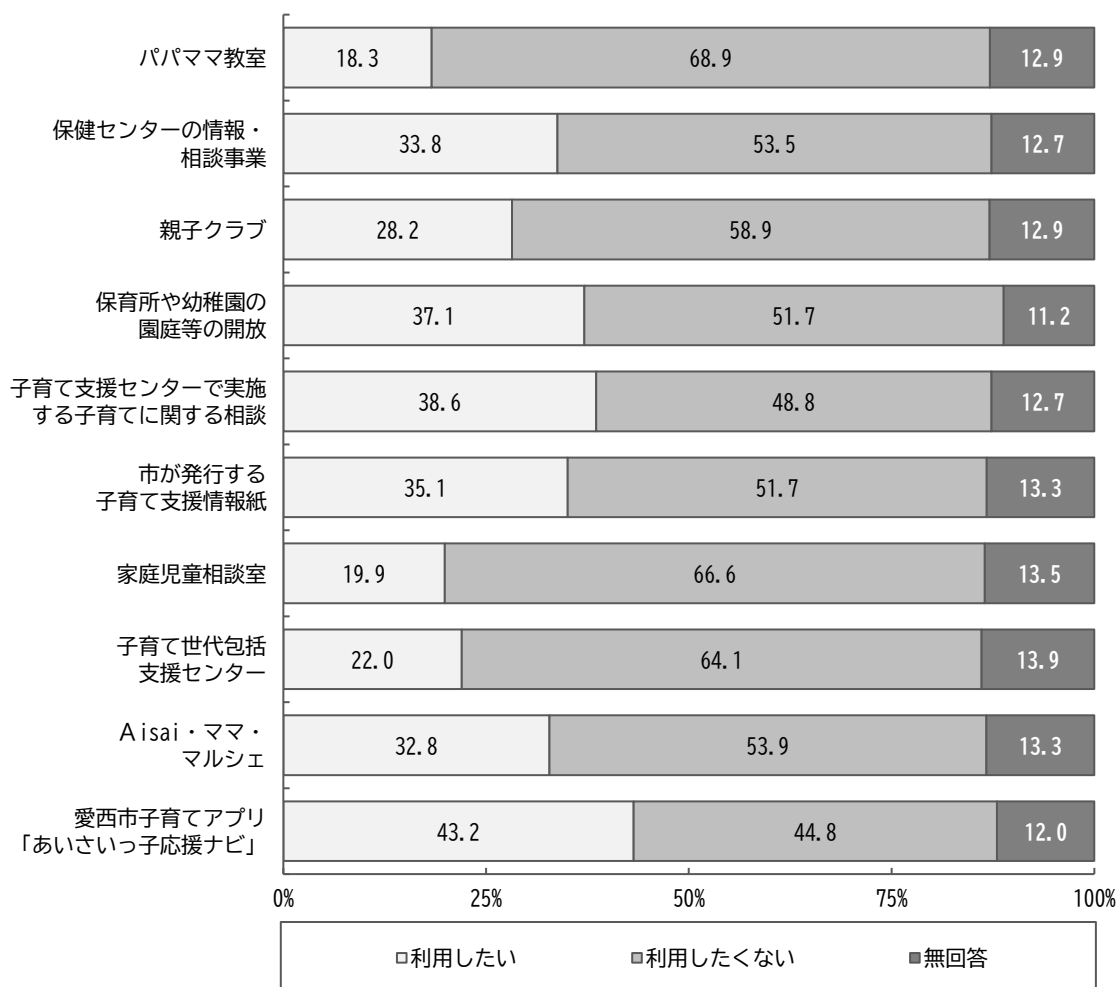
問18 B これまでに利用したことがあるか

就学前児童 n=482



問18 C 今後利用したい

就学前児童 n=482



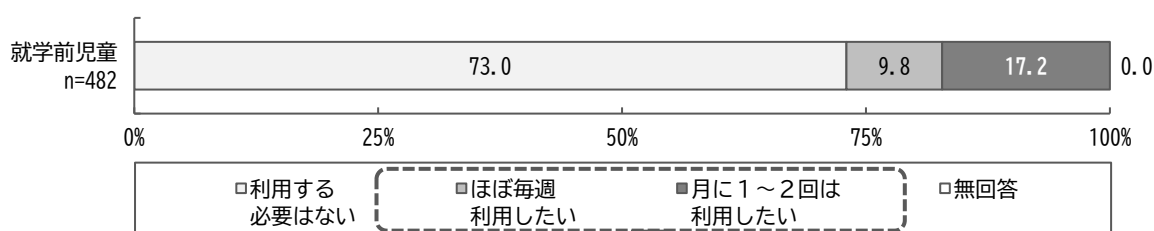
3 就学前児童の休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日と日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

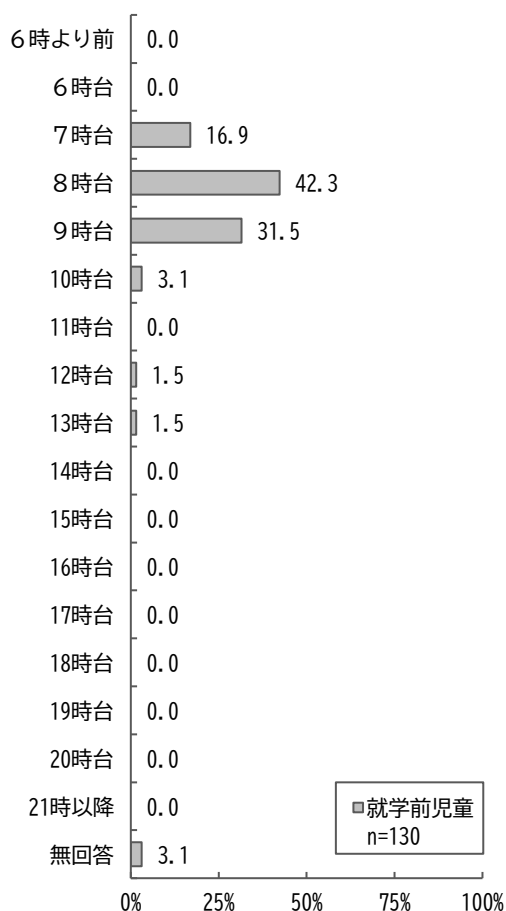
○土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」(9.8%)、「月に1～2回は利用したい」(17.2%)となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(42.3%)、終了時間で「18時台」(25.4%)が最も高くなっています。

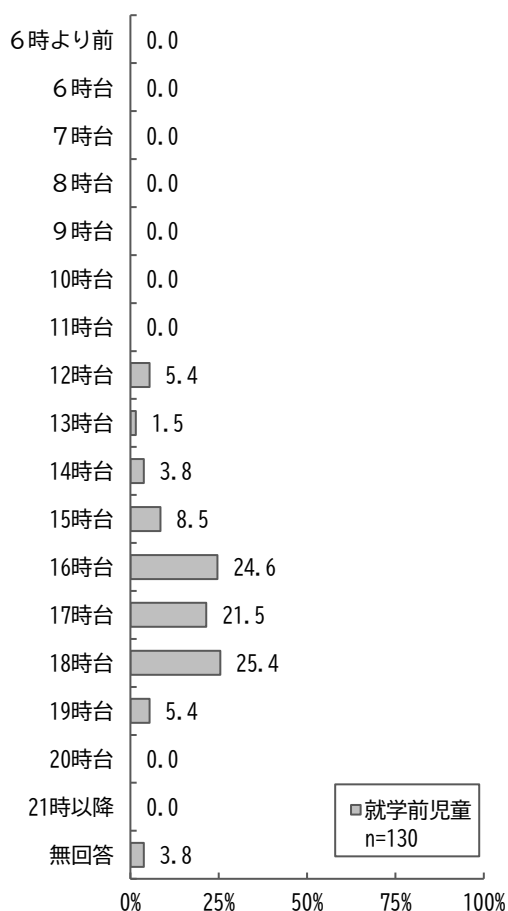
問19(1) 土曜日の利用希望



問19(1) 希望開始時間



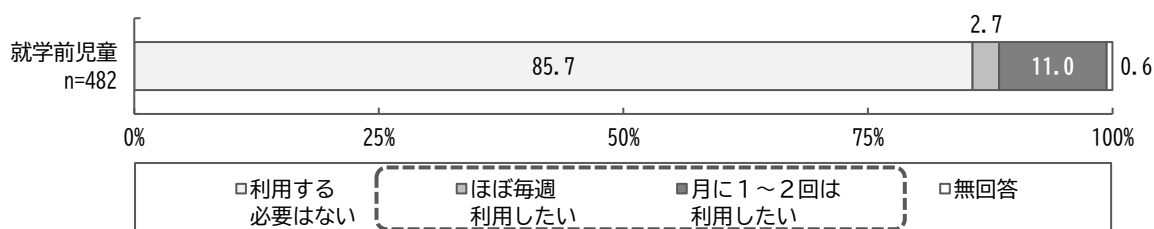
問19(1) 希望終了時間



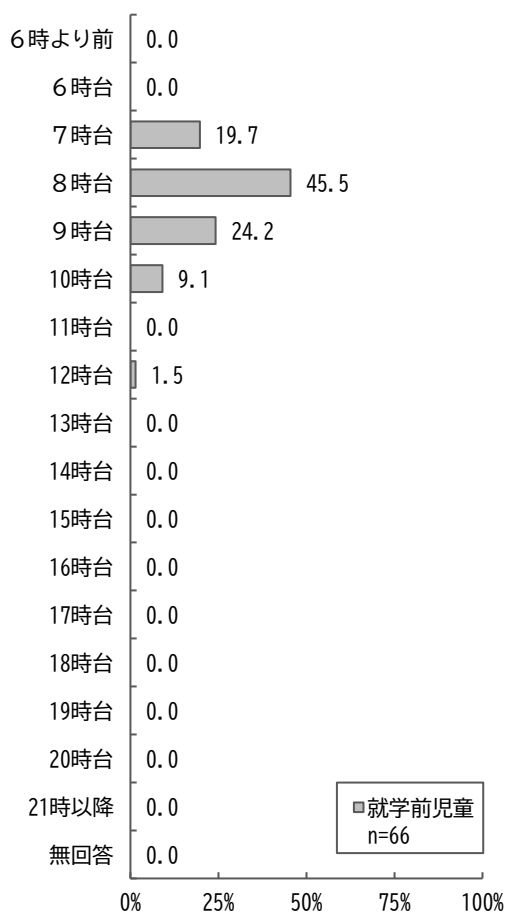
○日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」(2.7%)、「月に1～2回は利用したい」(11.0%)となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(45.5%)、終了時間で「18時台」(36.4%)が最も高くなっています。

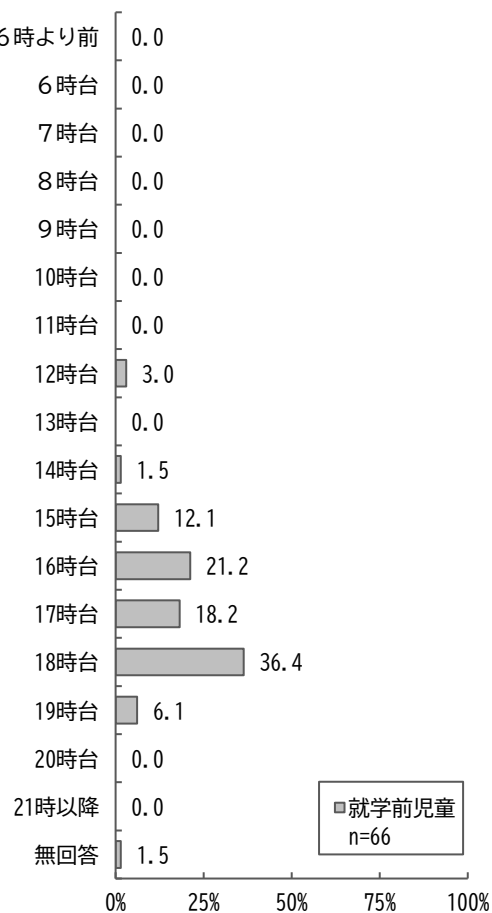
問19(2) 日曜日・祝日の利用希望



問19(2) 希望開始時間

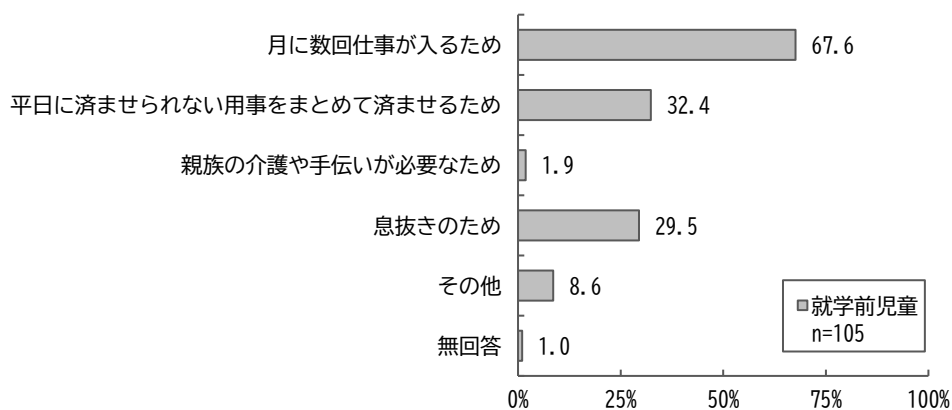


問19(2) 希望終了時間



○土曜日と日曜日・祝日において「月に1～2回は利用したい」と回答した方の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(67.6%)が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.4%)、「息抜きのため」(29.5%)となっています。

問19-1 毎週ではなく「月に1～2回利用したい」理由

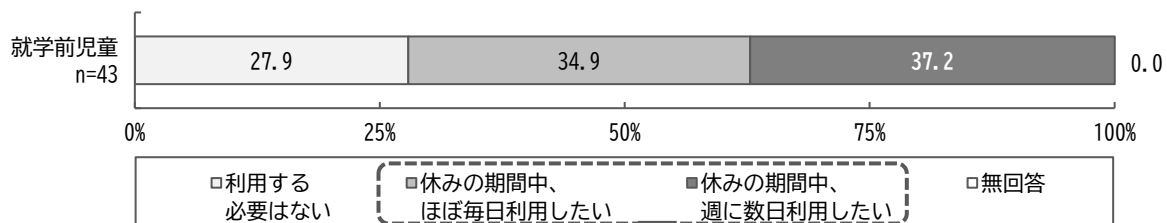


(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

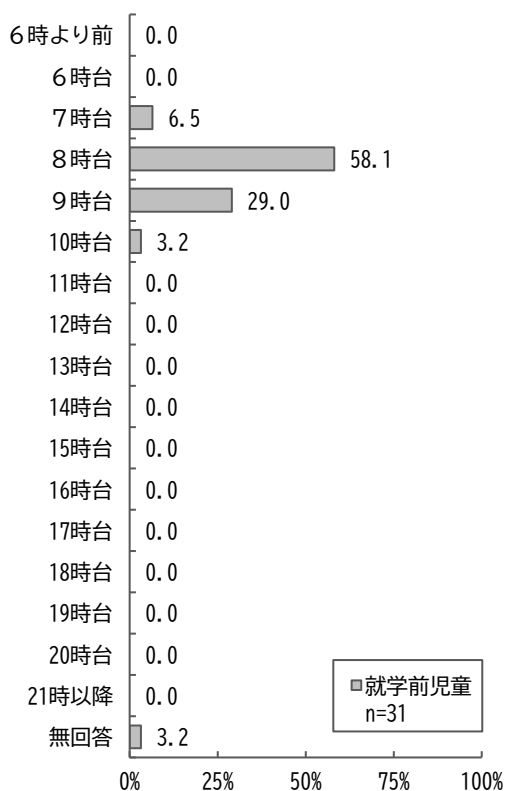
○幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(34.9%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(37.2%)となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(58.1%)、終了時間で「15時台」(29.0%)が最も高くなっています。

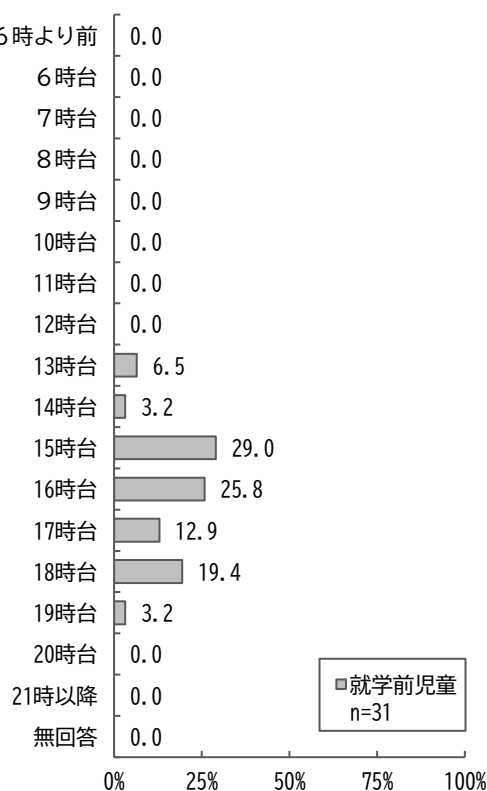
問20 長期休暇中の利用希望(幼稚園利用者)



問20 希望開始時間

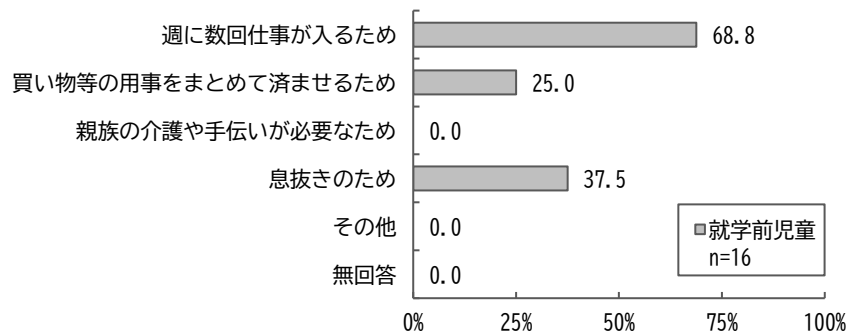


問20 希望終了時間



○長期休暇中において「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方の理由をみると、「週に数回仕事が入るため」(68.8%)が最も高く、次いで「息抜きのため」(37.5%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(25.0%)となっています。

問20-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由



4 就学前児童の病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

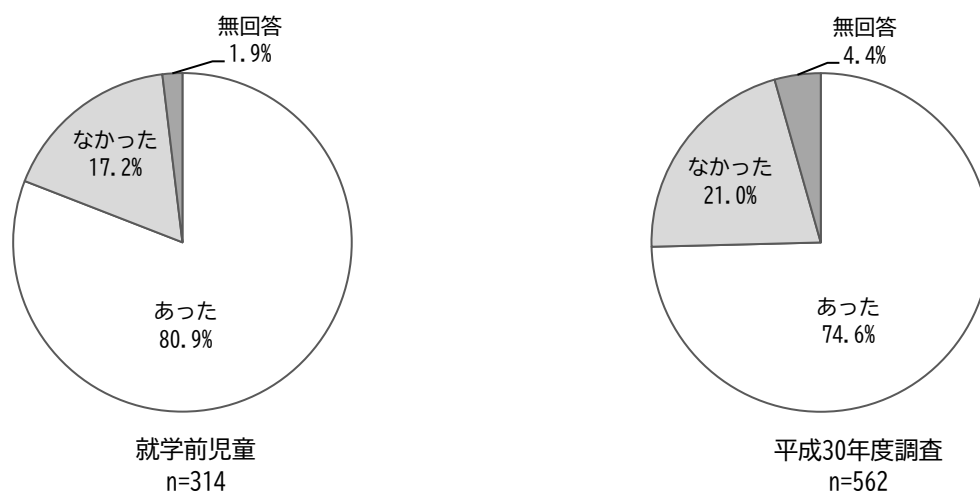
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できない時の対処について

○病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが、「あった」と回答した方は80.9%となっており、前回調査と比較すると増加しています。

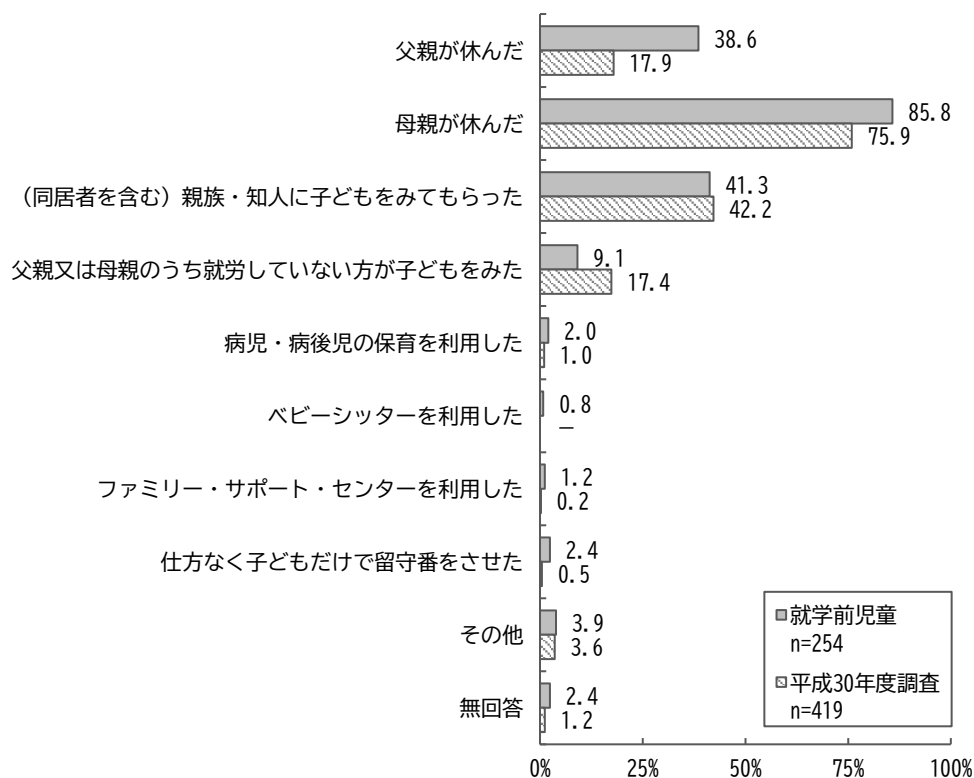
○その際の対処方法をみると、「母親が休んだ」(85.8%)が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(41.3%)となっています。

○前回調査と比較すると、特に「父親が休んだ」「母親が休んだ」割合が増加しています。

問21 病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無

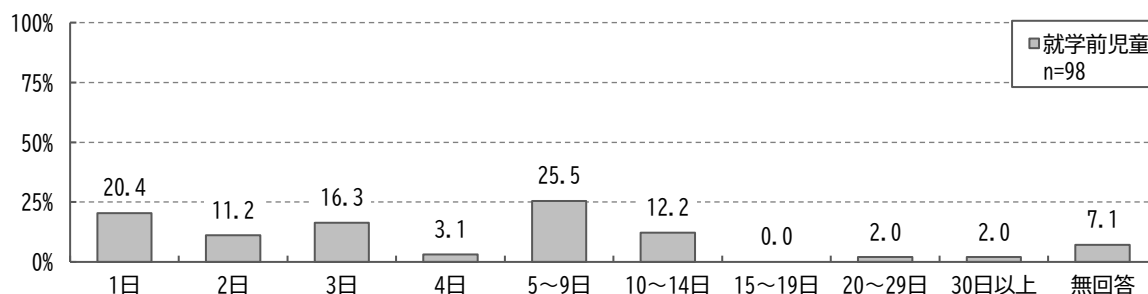


問21-1 この1年間の対処方法（経年比較）(複数回答)



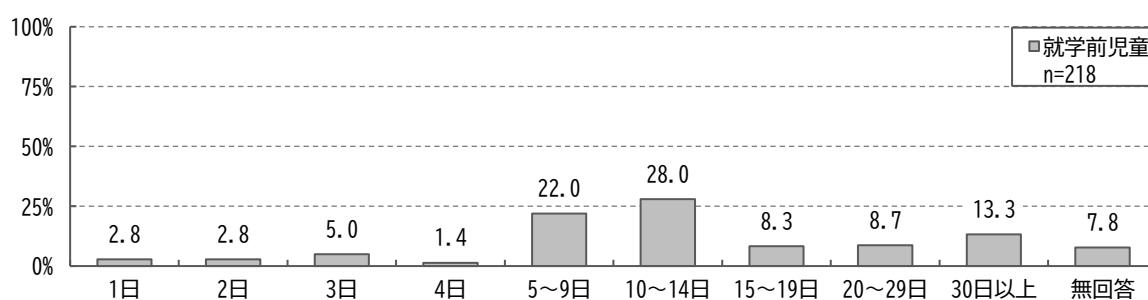
○対処方法別にこの1年間の対処日数をみると、「父親が休んだ日数」は、「5～9日」(25.5%)が最も高くなっています。

問21-1.1 父親が休んだ日数



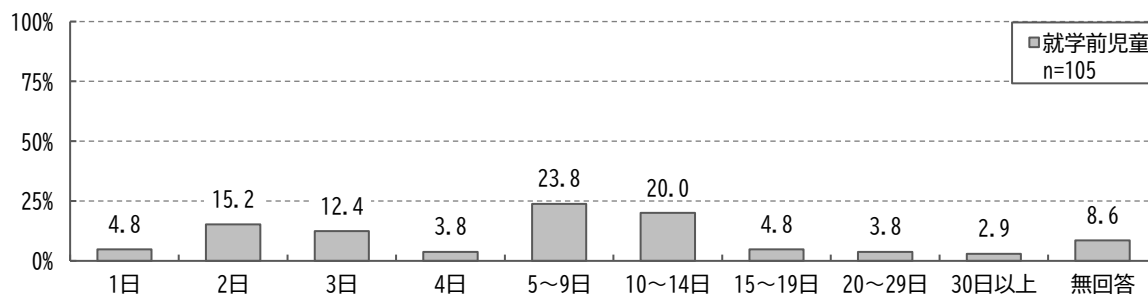
○「母親が休んだ日数」は、「10～14日」(28.0%)最も高くなっています。

問21-1.2 母親が休んだ日数



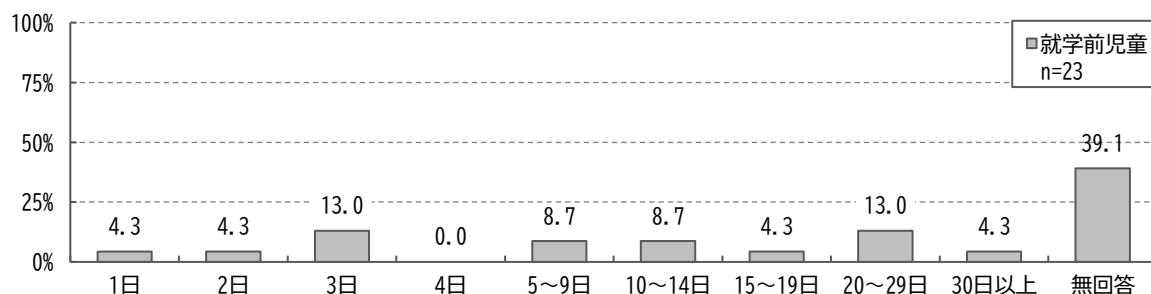
○「親族、知人に子どもをみてもらった日数」は、「5～9日」(23.8%)が最も高くなっています。

問21-1.3 (同居者を含む)親族、知人に子どもをみてもらった日数



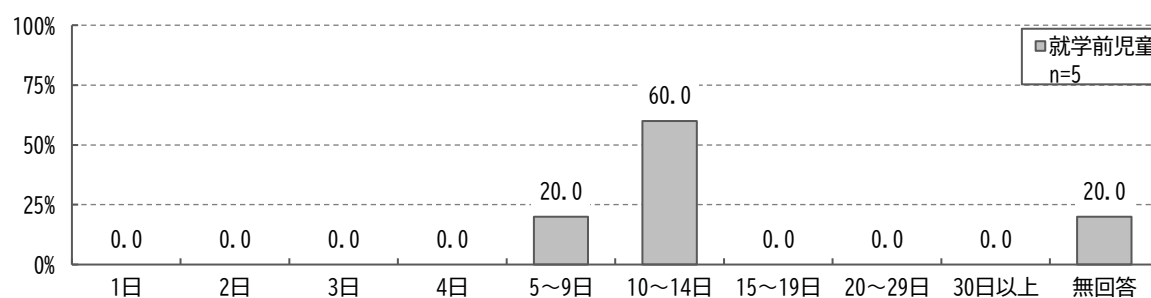
○「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数」は、「3日」「20～29日」（各13.0%）が最も高くなっています。

問21-1.4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



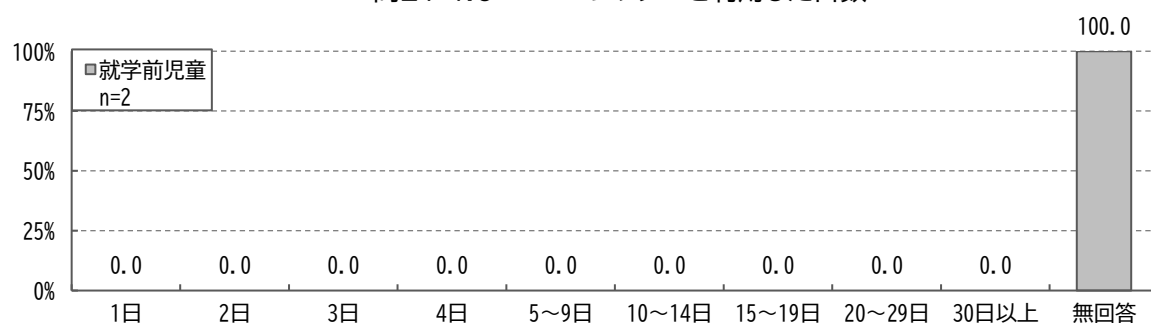
○「病児・病後児の保育を利用した日数」は、「10～14日」（60.0%）が最も高くなっています。

問21-1.5 病児・病後児の保育を利用した日数



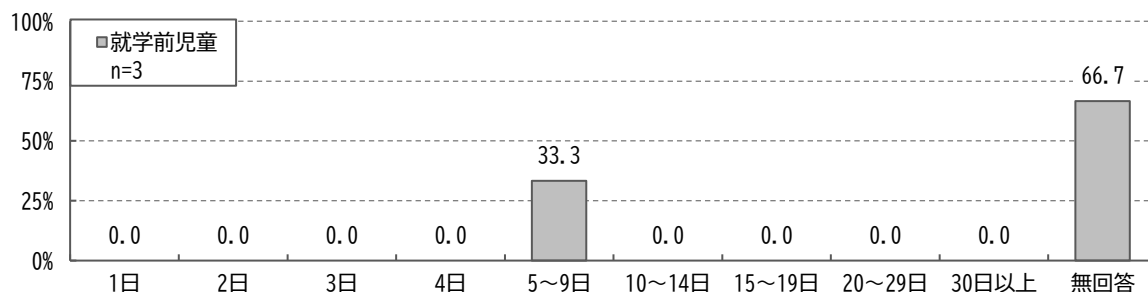
○「ベビーシッターを利用した日数は、「無回答」となっています。

問21-1.6 ベビーシッターを利用した日数



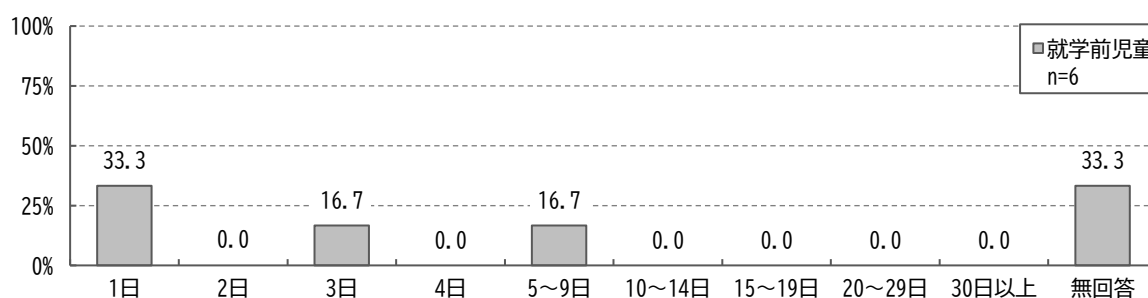
○「ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した日数」は、「5～9日」(33.3%)が1人となっています。

問21-1.7 ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した日数



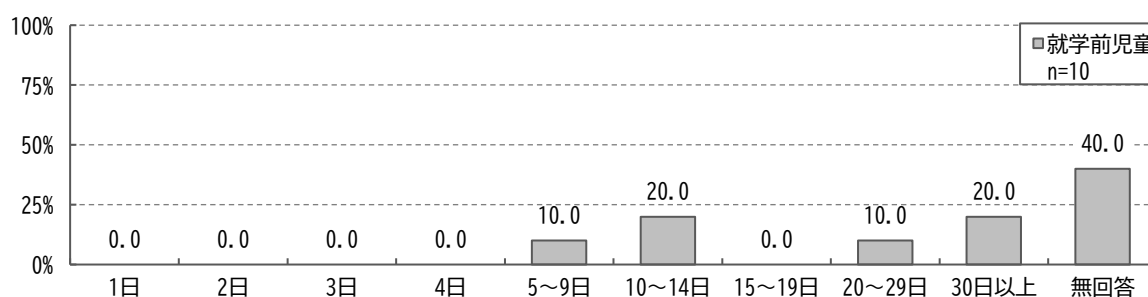
○「仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数」は、「1日」(33.3%)、「3日」「5～9日」(各16.7%)となっています。

問21-1.8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



○「その他」は、「10～14日」「30日以上」(各20.0%)となっています。

問21-1.9 その他



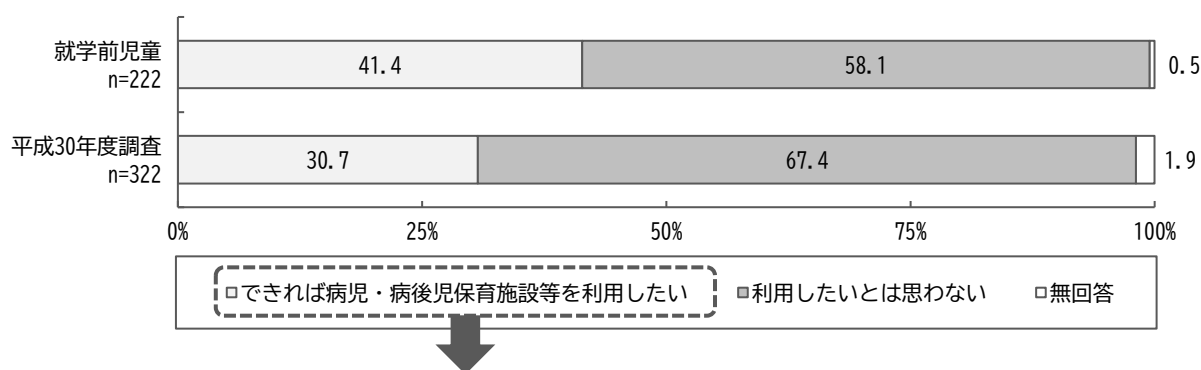
○父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が41.4%となっています。

○前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。

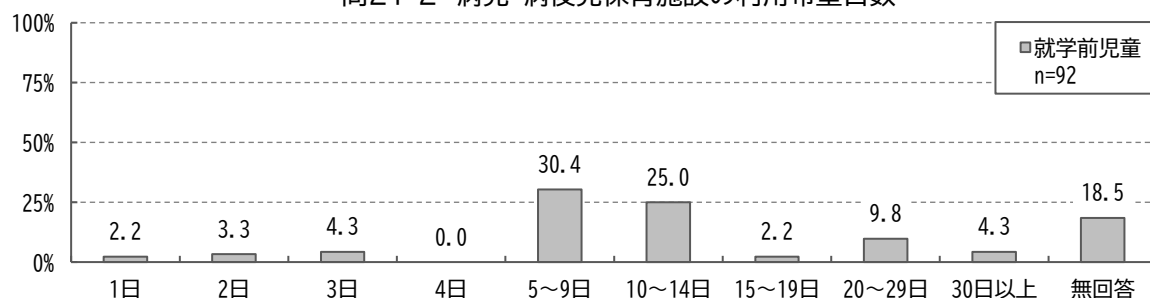
○その際の年間利用希望日数をみると、「5～9日」(30.4%)が最も高くなっています。

○子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(81.5%)が最も高く、前回調査と大きな変化はありません。

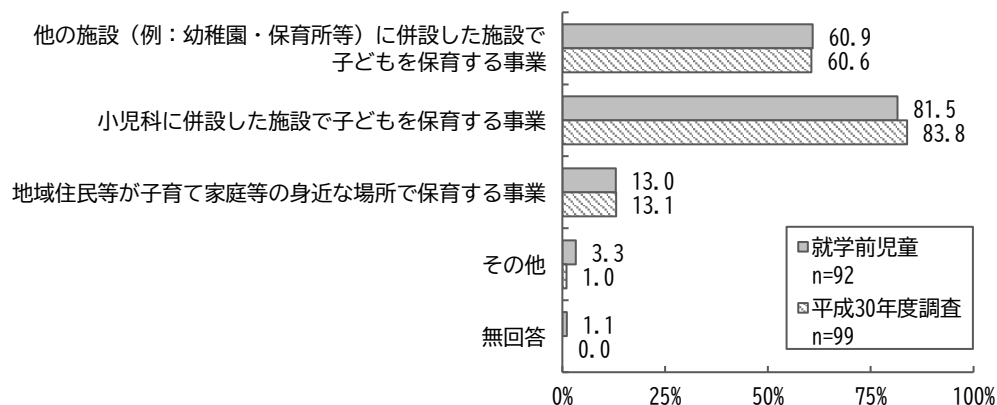
問21-2 父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向（経年比較）



問21-2 病児・病後児保育施設の利用希望日数

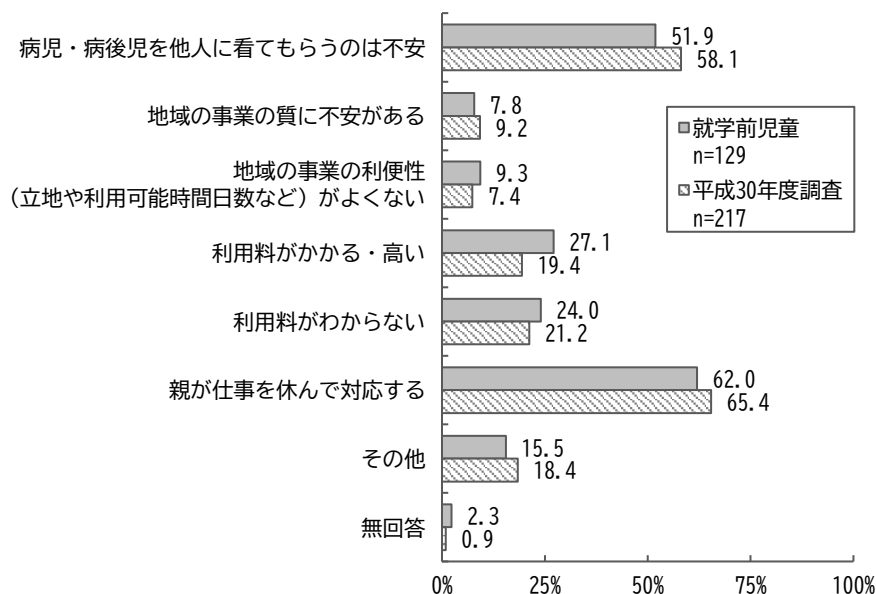


問21-3 子どもを預ける場合の望ましい事業形態（経年比較）(複数回答)



○病児・病後児保育施設等の利用意向がない方の理由をみると、「親が仕事を休んで対応する」(62.0%)が最も高く、前回調査と大きな変化はありません。

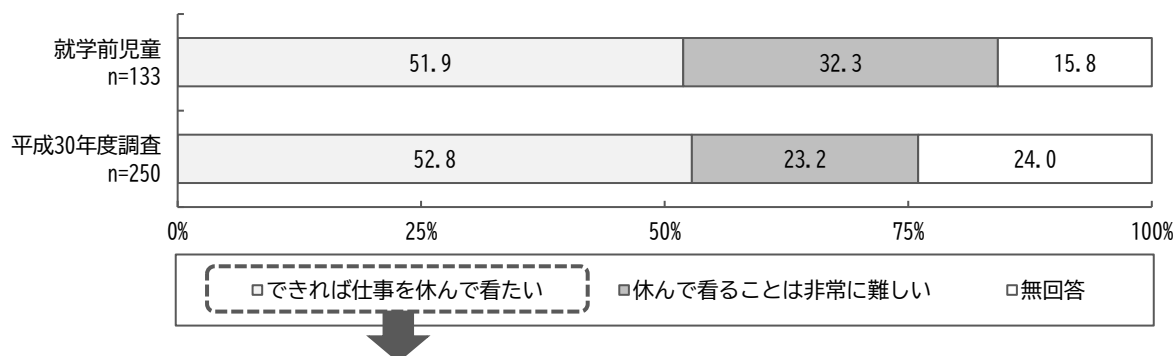
問21-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由（経年比較）



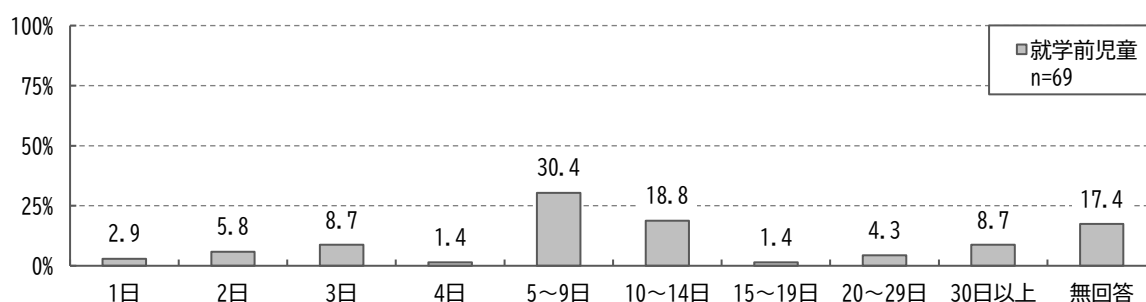
○父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方は51.9%となっており、前回調査と大きな変化はありません。

○「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方の年間希望日数は、「5～9日」(30.4%)が最も高くなっています。

問21-5 「父母が仕事を休んで看たい」意向（経年比較）



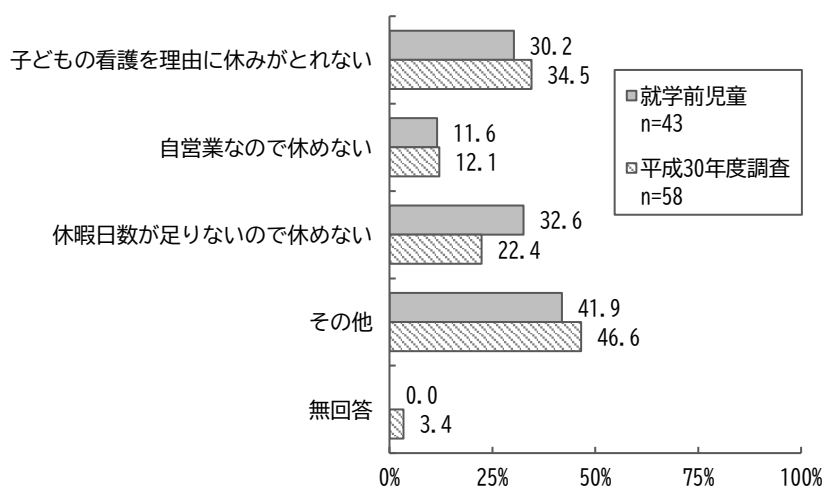
問21-5.1 「できれば仕事を休んで看たい」希望日数(年間)（経年比較）



○「休んで看することは非常に難しい」と回答した方の理由をみると、「休暇日数が足りないで休めない」(32.6%)が最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みが取れない」(30.2%)となっています。また、「その他」が4割を超えていることから、選択項目以外にもさまざまな理由があることがうかがえます。

○前回調査と比較すると、特に「休暇日数が足りないで休めない」の割合が増加しています。

問21-6 「休んで看することは非常に難しい」理由（経年比較）(複数回答)

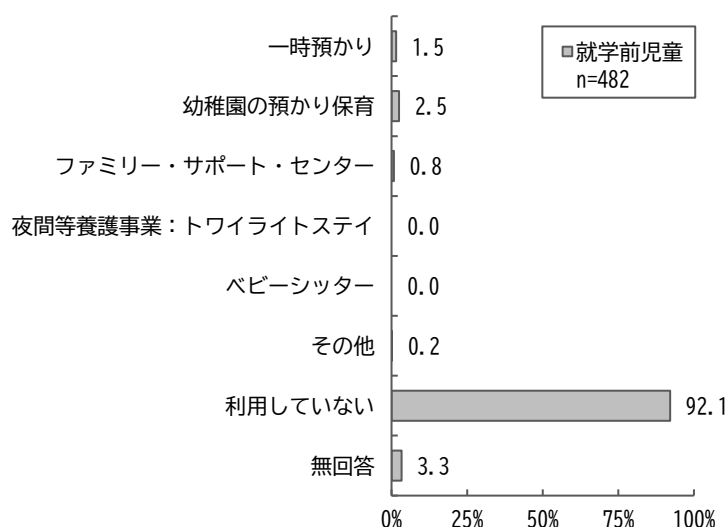


5 就学前児童の不定期の一時保育の利用について

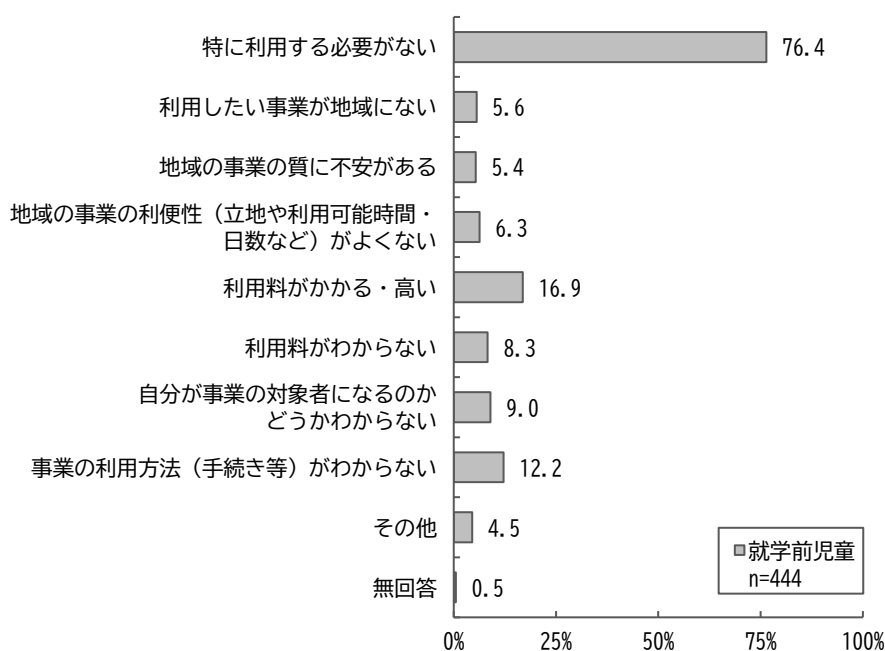
(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業の状況をみると、「利用していない」が9割となっています。利用している事業は「幼稚園の預かり保育」(2.5%)となっています。
- 「利用していない」理由をみると、「特に利用する必要がない」が7割以上となっています。

問22 不定期に利用している一時預かり事業

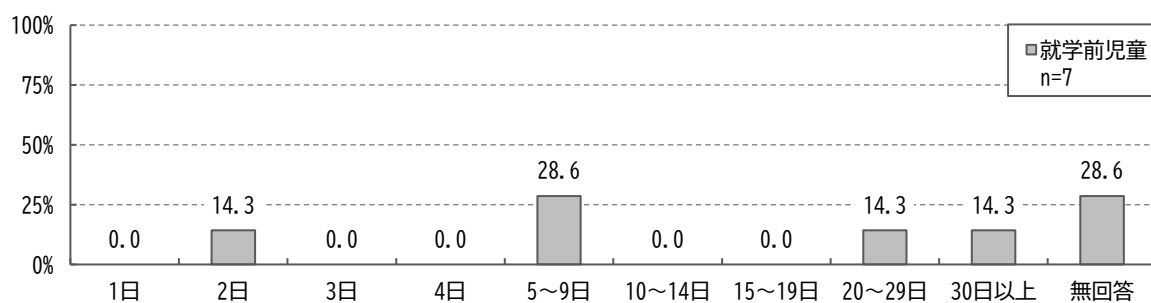


問22-1 現在利用していない理由

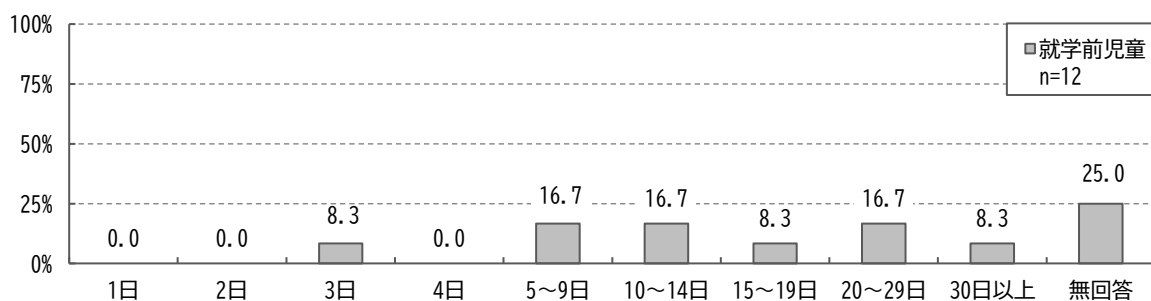


○事業別の年間利用日数は以下のとおりです。

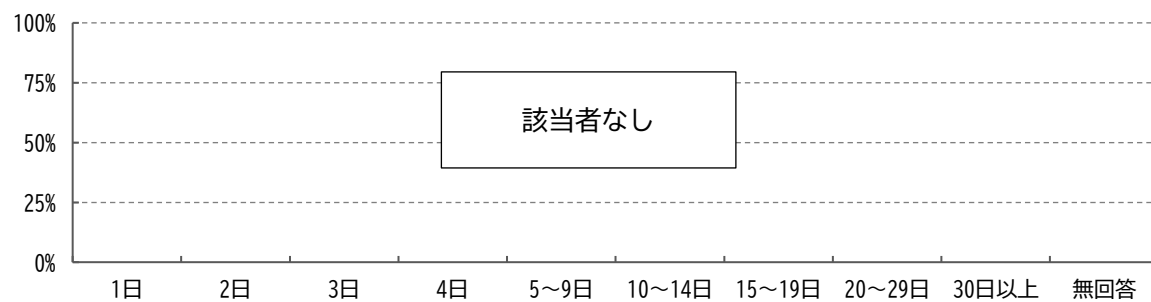
問22.1 「一時預かり」年間利用日数



問22.2 「幼稚園の預かり保育」年間利用日数



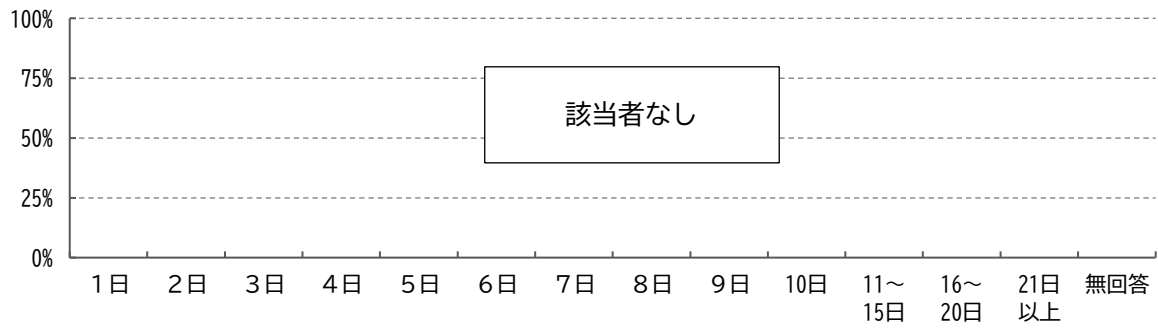
問22.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数



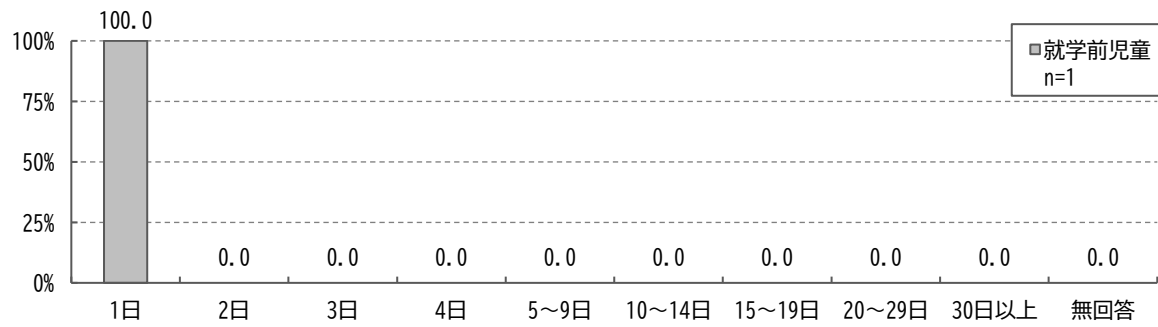
問22.4 「夜間等養護事業:トワイライトステイ」年間利用日数



問22.5 「ベビーシッター」年間利用日数

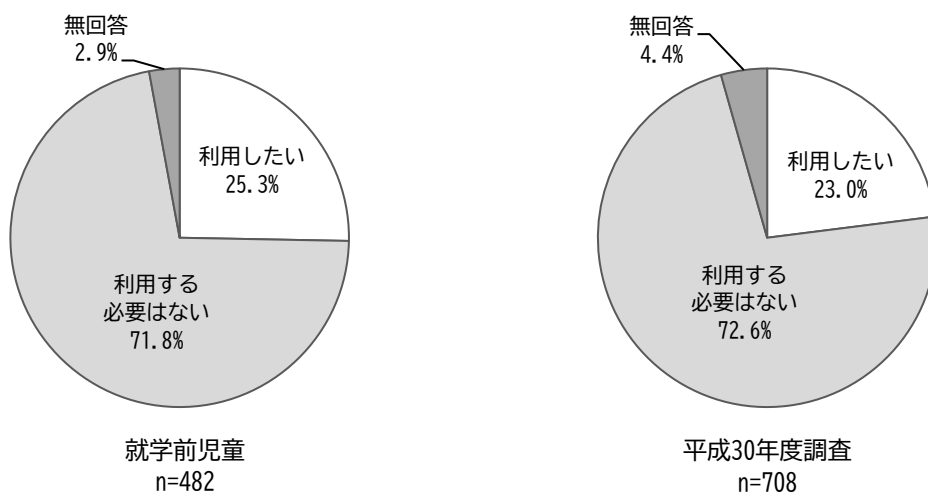


問22.6 「その他」年間利用日数

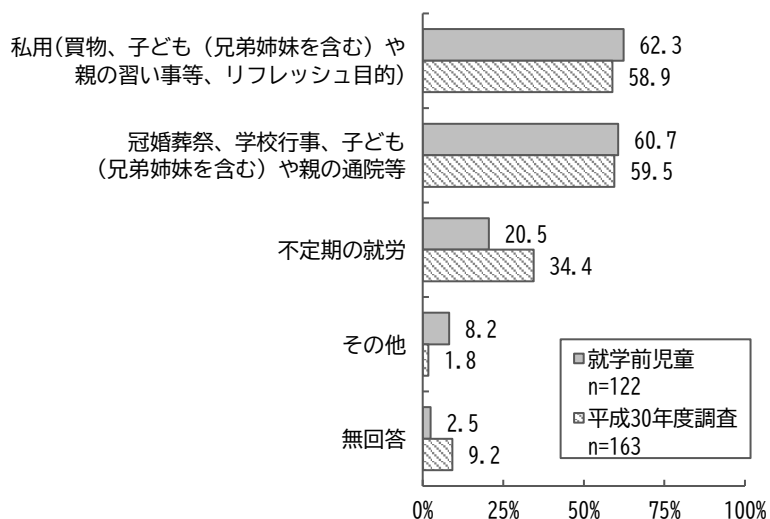


- 一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」と回答した方は25.3%となっており、前回調査と大きな変化はありません。
- 一時保育事業の利用目的をみると、「私用」（62.3%）が最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（60.7%）となっています。
- 前回調査と比較すると、特に「不規則の就労」の割合が減少しています。

問23 一時保育事業の利用希望とその目的（経年比較）

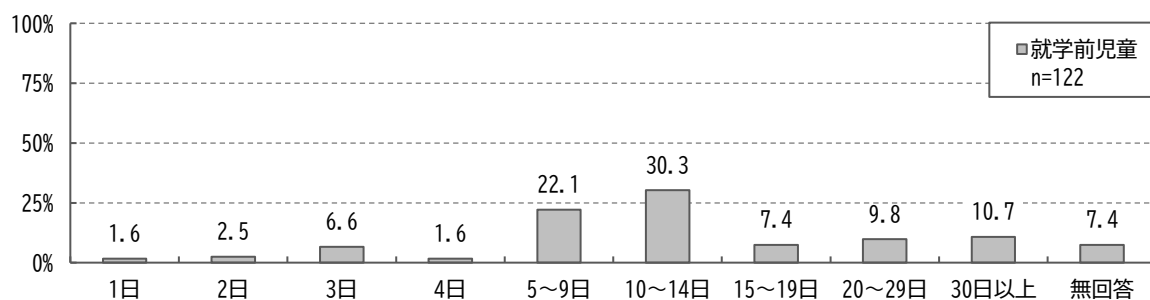


問23(1) 一時保育事業の利用目的（経年比較）



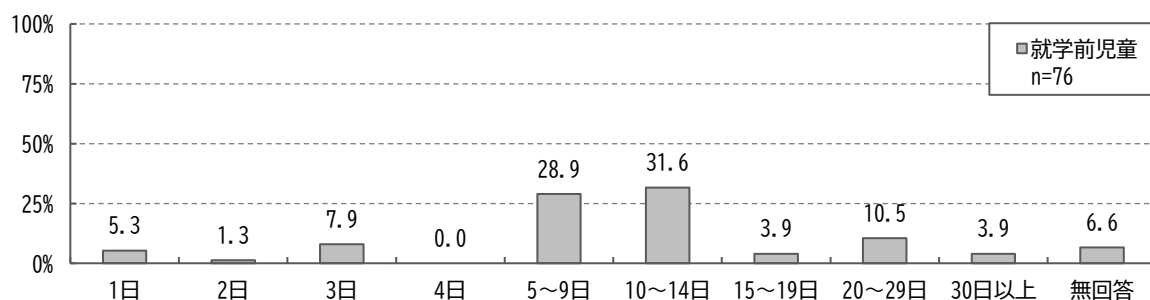
○利用希望年間合計日数をみると、「10～14日」（30.3%）が最も高くなっています。

問23.1 一時保育事業の利用希望年間合計日数



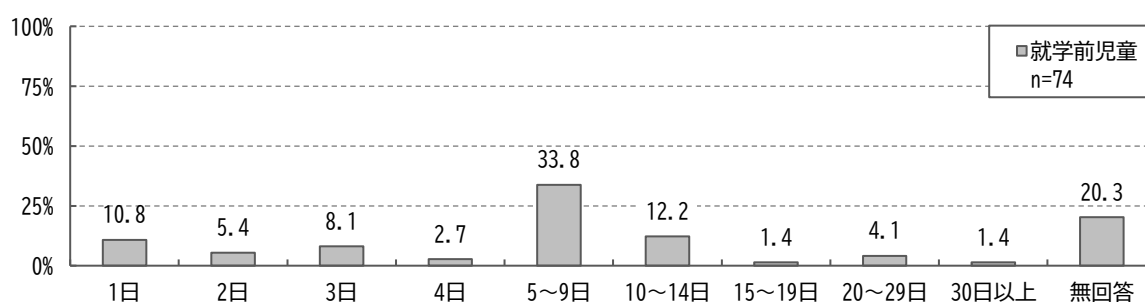
○目的ごとの年間利用希望日数をみると、「私用」は「10～14日」（31.6%）が最も高くなっています。

問23.1(1) 私用



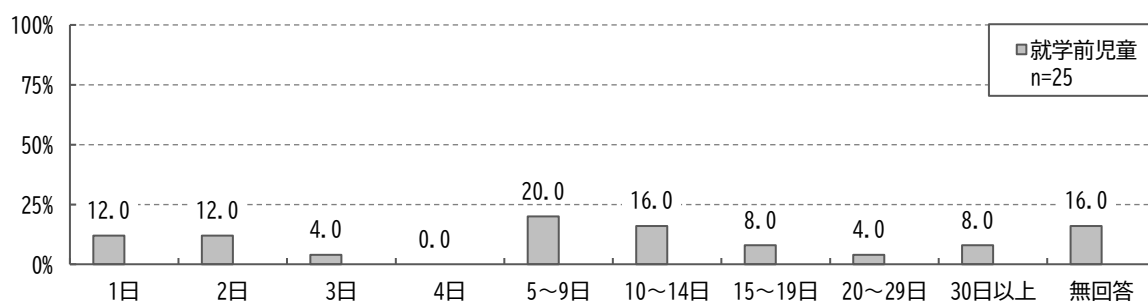
○「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は、「5～9日」（就学前児童33.8%）が最も高くなっています。

問23.1(2) 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



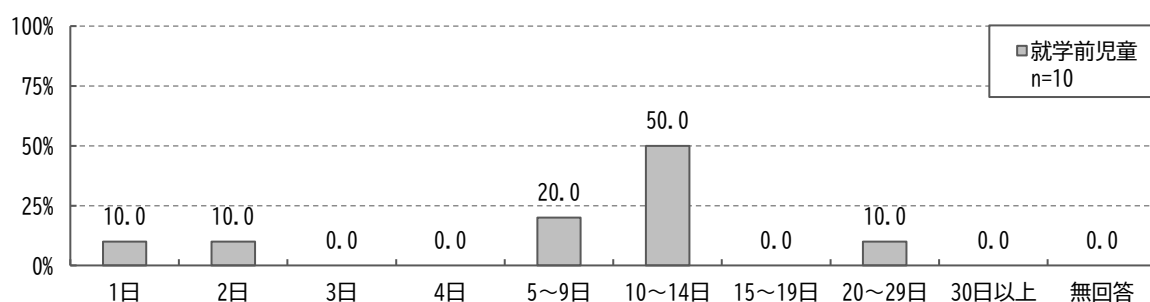
○「不定期の就労」は、「5～9日」(20.0%)が最も高くなっています。

問23.1(3) 不定期の就労



○「その他」は、「10～14日」(50.0%)が最も高くなっています。

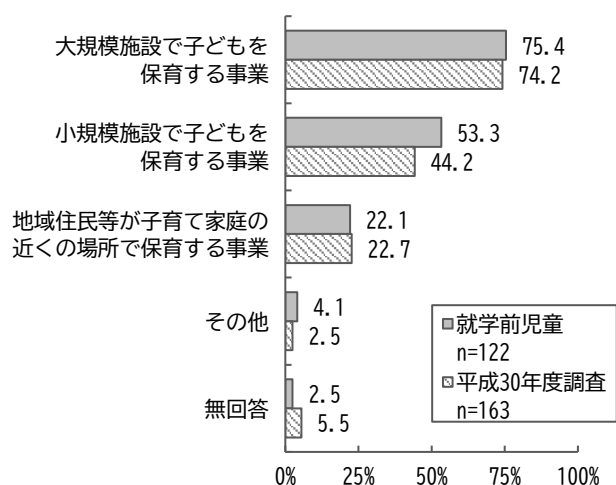
問23.1(4) その他



○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(75.4%)が最も高くなっています。

○前回調査と比較すると、特に「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。

問23-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態



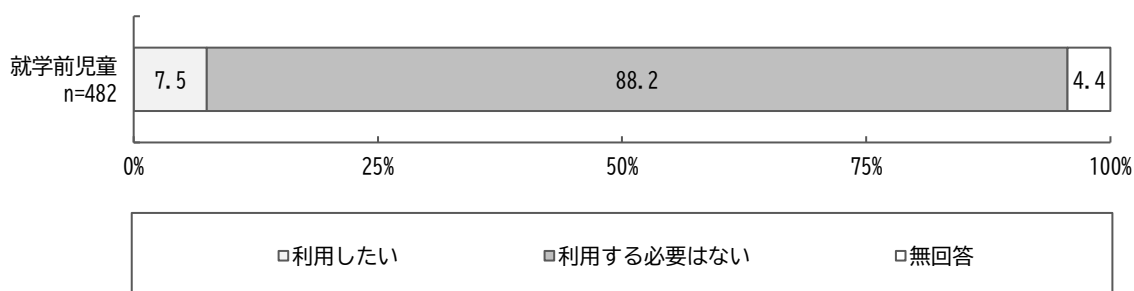
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

○保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預ける事業の利用希望をみると、「利用したい」と回答した方は7.5%となっています。

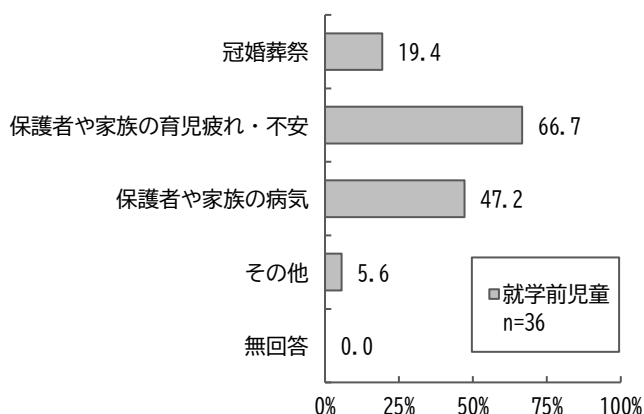
○泊りがけで家族以外に預ける事業を利用したい理由についてみると、「保護者や家族の病気」(66.7%)が最も高くなっています。

○利用希望年間合計日数をみると、「1泊」「2泊」「5～9泊」(各22.2%)が最も高くなっています。

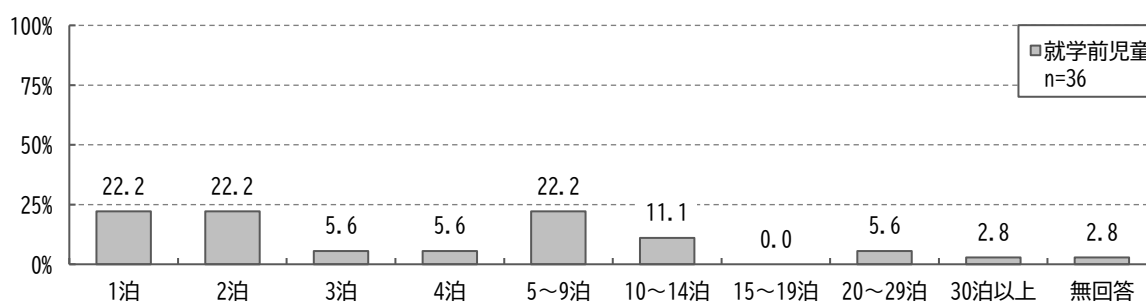
問24 保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預ける事業の利用希望



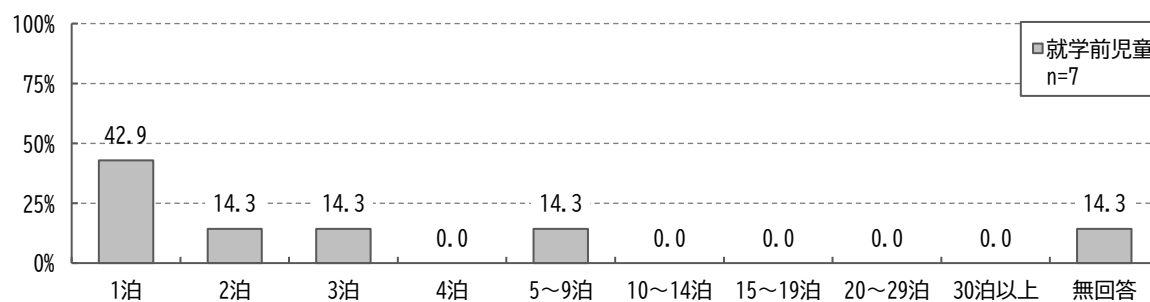
問24.1 利用したい理由



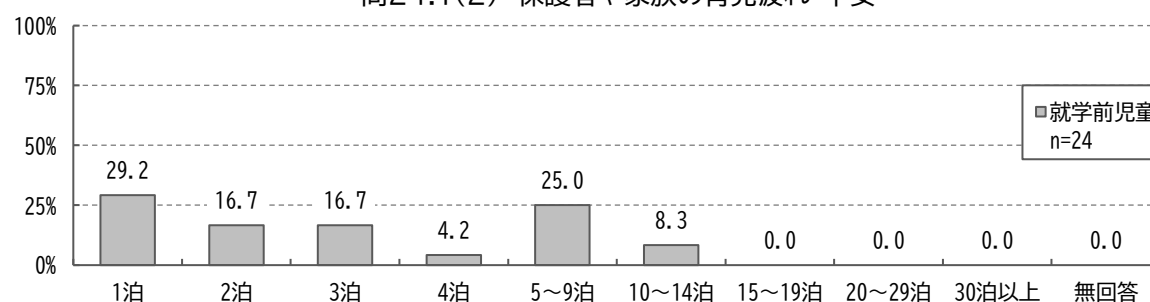
問24.1 利用希望年間合計日数



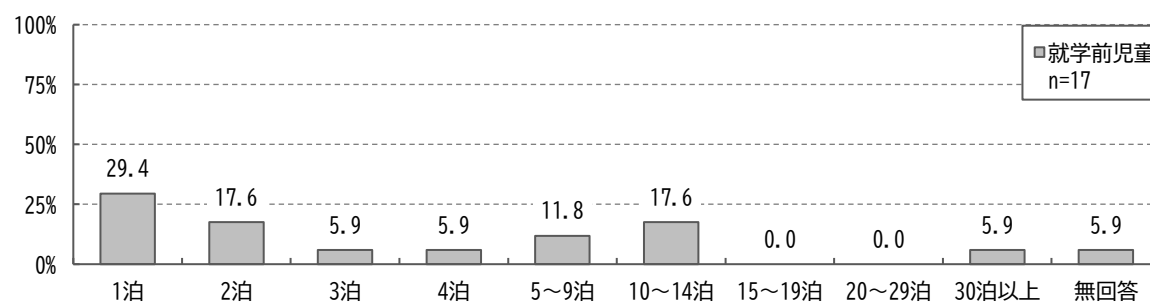
問24.1(1) 冠婚葬祭



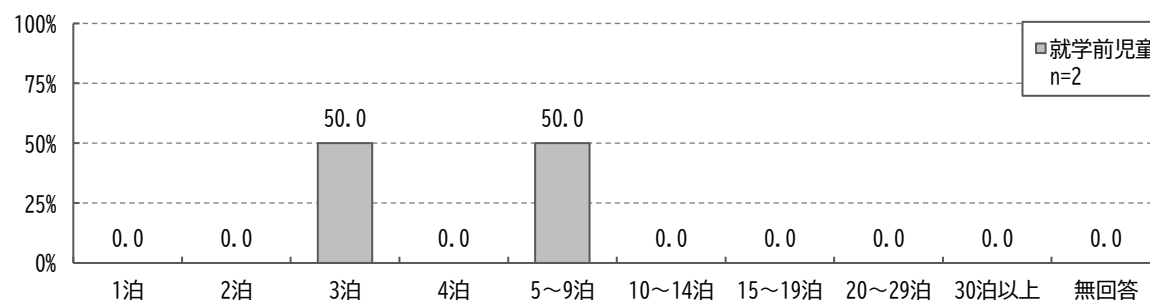
問24.1(2) 保護者や家族の育児疲れ・不安



問24.1(3) 保護者や家族の病気



問24.1(4) その他

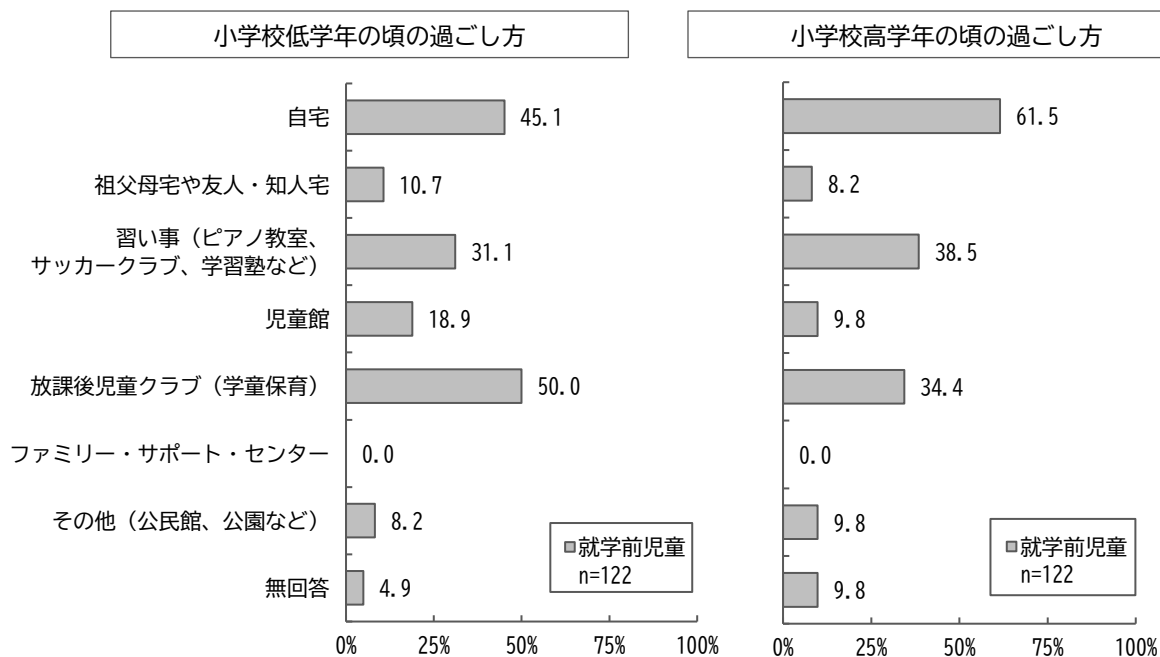


6 放課後の過ごし方について

(1) 就学前児童の平日の放課後の過ごし方について

○放課後の過ごし方の希望をみると、低学年のうちは「放課後児童クラブ（学童保育）」（50.0%）が最も高く、次いで「自宅」（45.1%）となっています。高学年になると、「自宅」（61.5%）が最も高く、次いで「習い事」（38.5%）となっています。

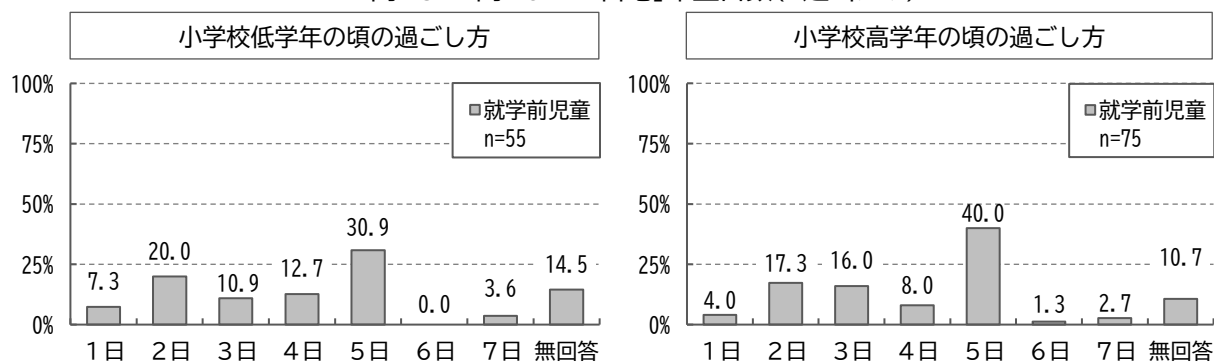
問25・問26 放課後の過ごし方の希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。

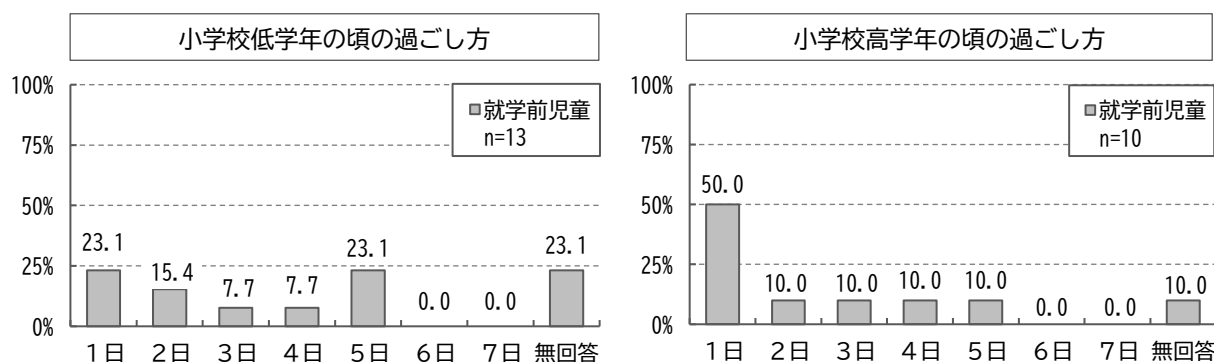
○保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、「自宅」は、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」（低学年時期30.9%、高学年時期40.0%）が最も高くなっています。

問25.1・問26.1 「自宅」希望日数(1週当たり)



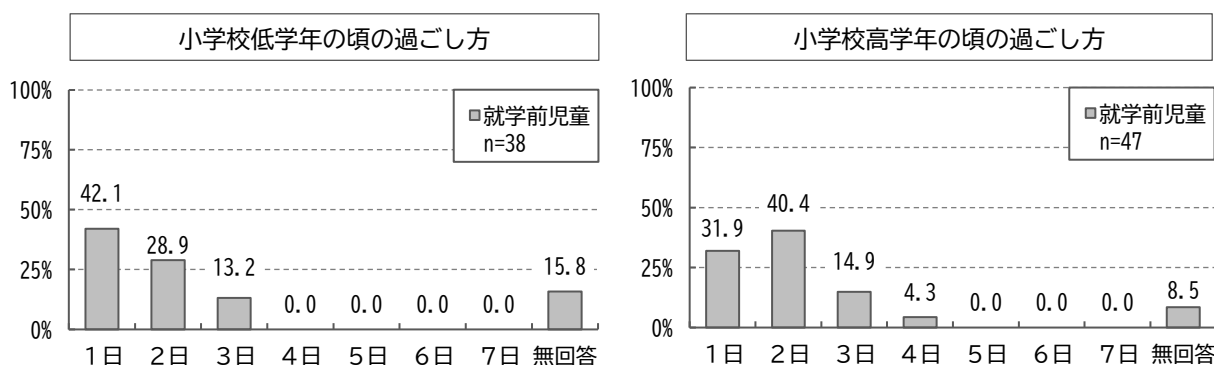
○「祖父母宅や友人、知人宅」は、低学年時期では「1日」「5日」（各23.1%）、高学年時期では「1日」（50.0%）が最も高くなっています。

問25.2・問26.2 「祖父母宅や友人・知人宅」希望日数(1週当たり)



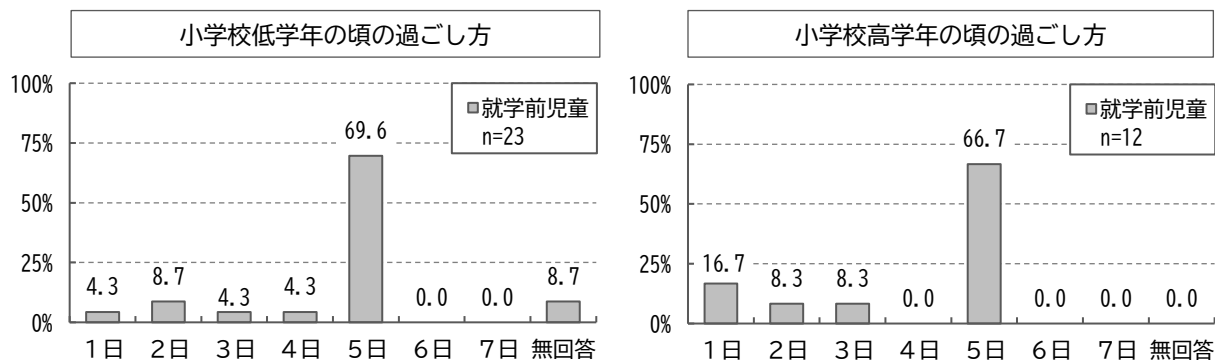
○「習い事」は、低学年時期では「1日」（42.1%）、高学年時期では「2日」（40.4%）が最も高くなっています。

問25.3・問26.3 「習い事」希望日数(1週当たり)



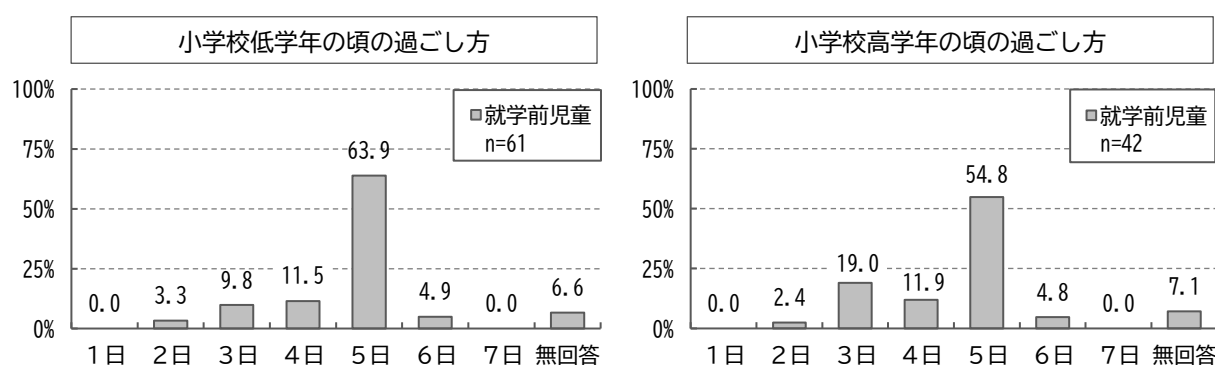
○「児童館」は、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」（低学年時期69.6%、高学年時期66.7%）が最も高くなっています。

問25.4・問26.4 「児童館」希望日数(1週当たり)



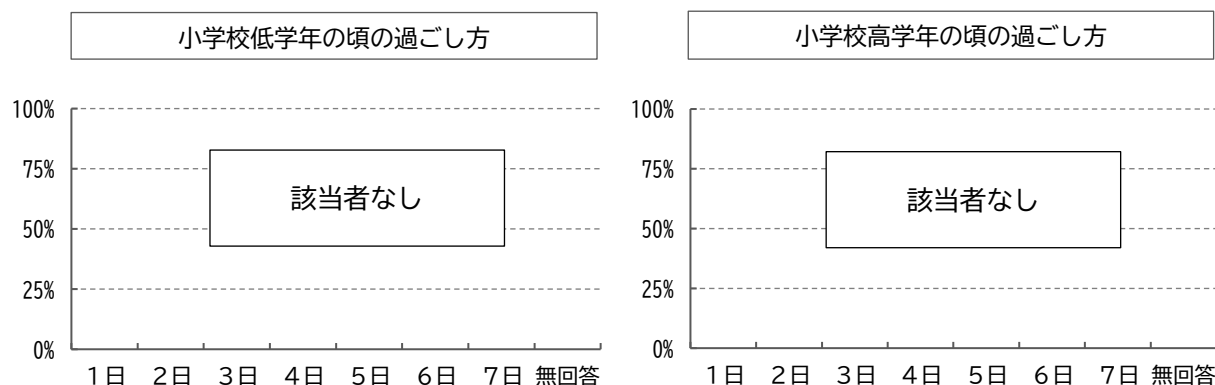
○「放課後児童クラブ（学童保育）」は、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」（低学年時期63.9%、高学年時期54.8%）が最も高くなっています。

問25.5・問26.5 「放課後児童クラブ(学童保育)」希望日数(1週当たり)



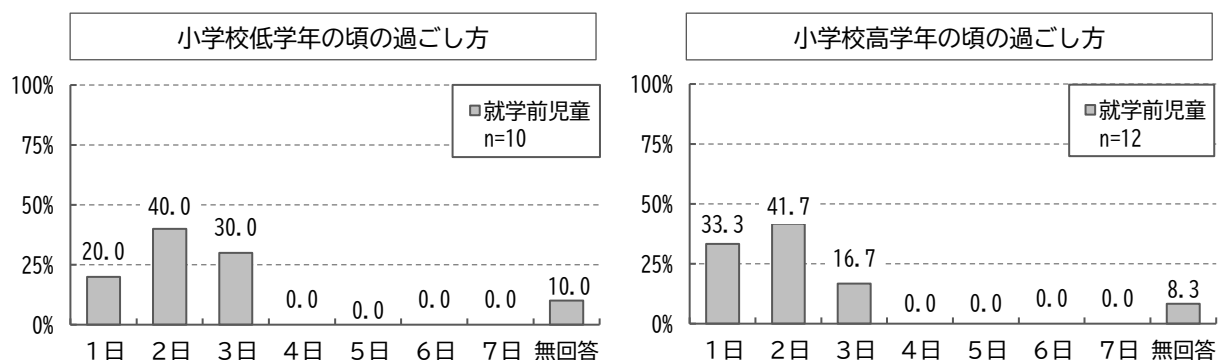
○「ファミリー・サポート・センター」は、希望者が低学年時期、高学年時期いずれもいません。

問25.6・問26.6 「ファミリー・サポート・センター」希望日数(1週当たり)



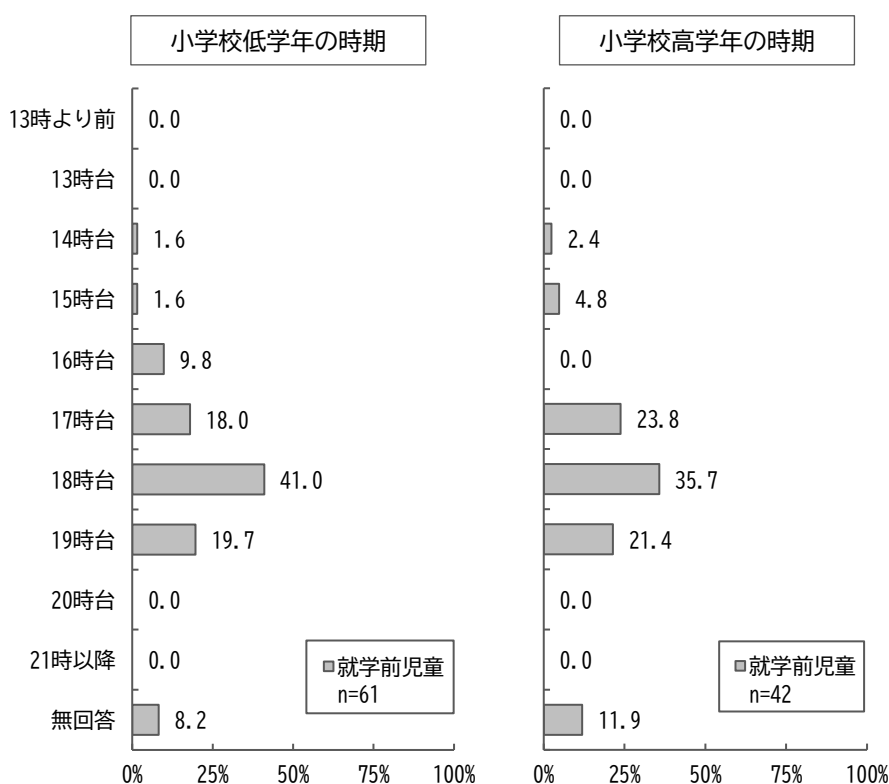
○「その他（公民館、公園など）」は、低学年時期、高学年時期いずれも「2日」（低学年時期40.0%、高学年時期41.7%）が最も高くなっています。

問25.7・問26.7 「その他（公民館、公園など）」希望日数（1週当たり）



○放課後児童クラブの下校時からの利用希望時間帯をみると、低学年時期、高学年時期いずれも「18時台」（低学年時期41.0%、高学年時期35.7%）が最も高くなっています。

問25.5・問26.5 「放課後児童クラブ」下校時からの利用希望時間



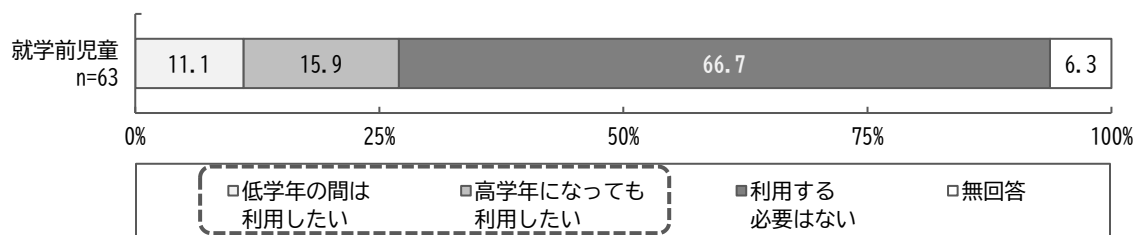
(2) 就学前児童の休日（長期休暇期間中を含む）の放課後児童クラブの利用希望

○放課後児童クラブの土曜日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は合わせて27.0%となっています。

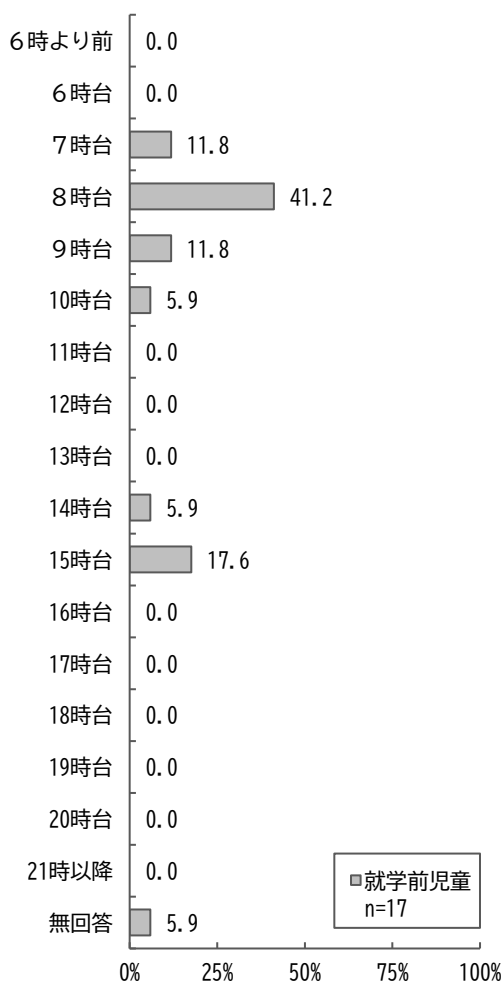
○希望開始時間をみると、「8時台」(41.2%)が最も高くなっています。

○希望終了時間をみると、「19時台」(35.3%)が最も高くなっています。

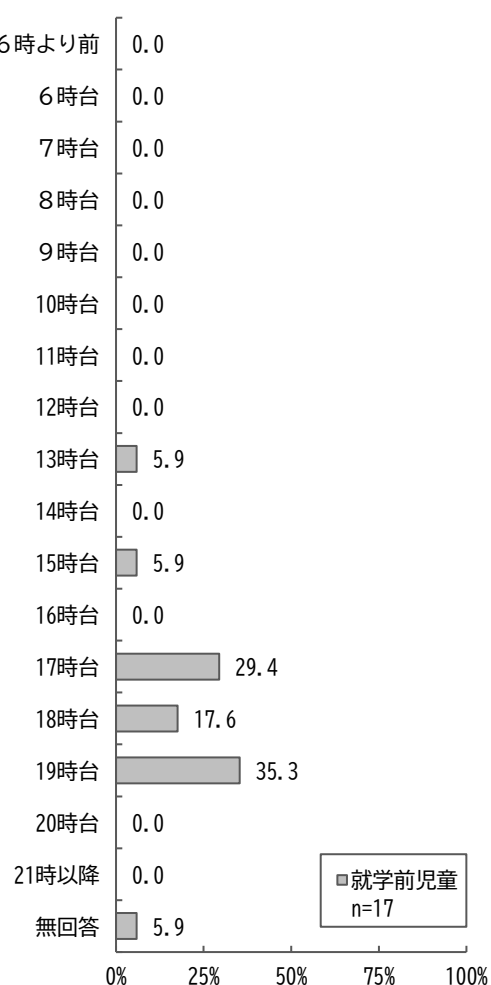
問27(1) 放課後児童クラブの土曜日の利用希望



問27(1) 希望開始時間



問27(1) 希望終了時間

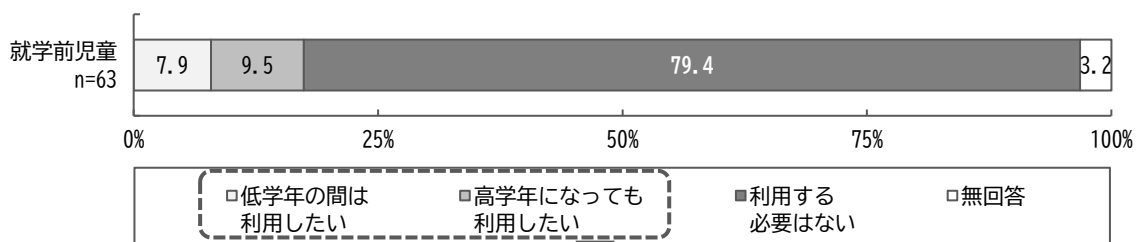


○放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は合わせて17.4%となっています。

○希望開始時間をみると、「8時台」(54.5%)が最も高なっています。

○希望終了時間をみると、「18時台」(36.4%)が最も高くなっています。

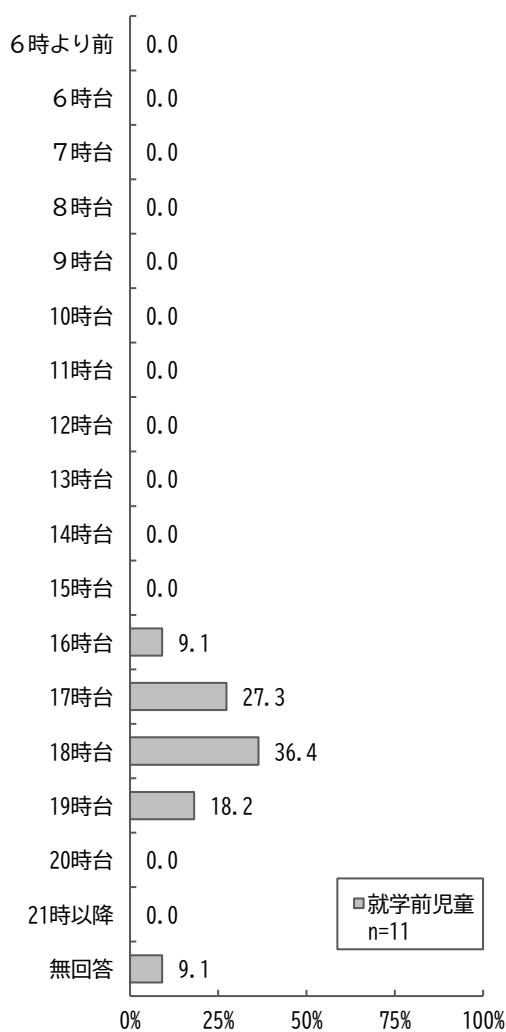
問27(2) 放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用希望



問27(2) 希望開始時間

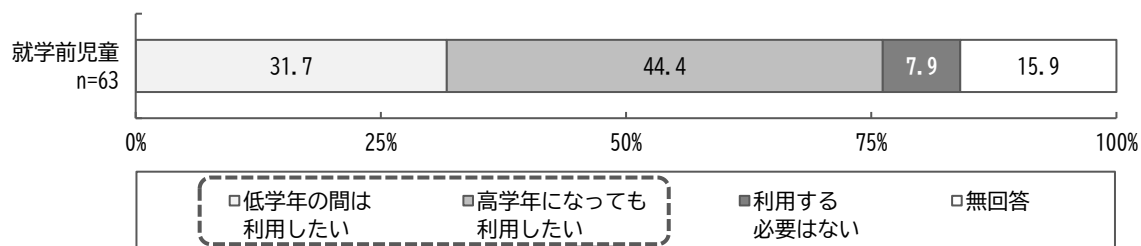


問27(2) 希望終了時間



- 放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」、「高学年になっても利用したい」と回答した方は合わせて76.1%となっています。
- 希望開始時間をみると、「8時台」(60.4%)が最も高くなっています。
- 希望終了時間をみると、「18時台」(41.7%)が最も高くなっています。

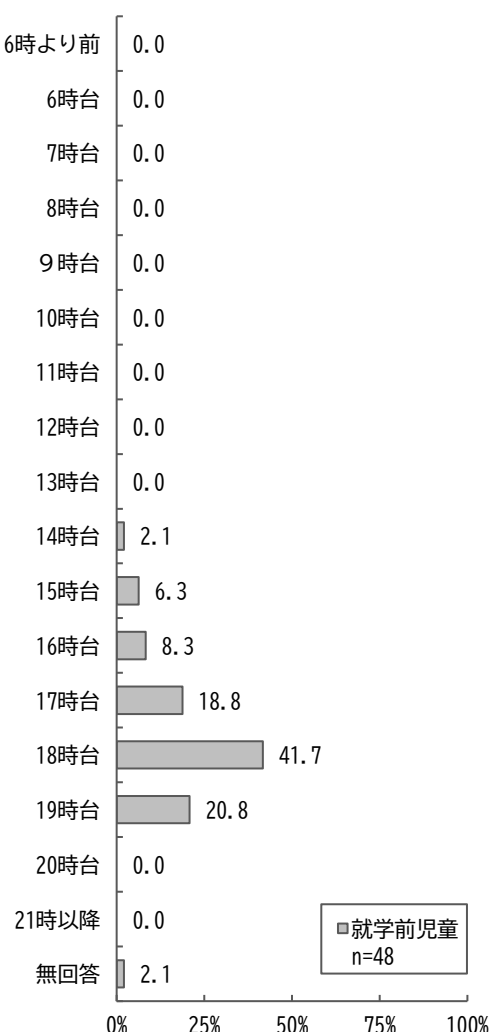
問28 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望



問28 希望開始時間



問28 希望終了時間



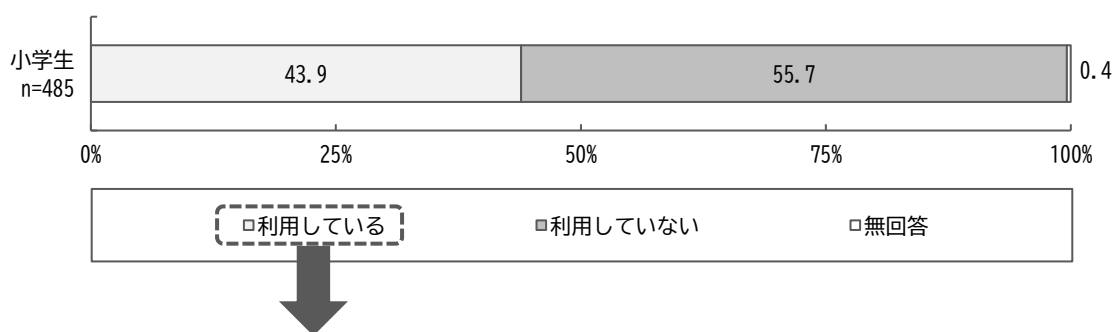
(3) 小学生の放課後児童クラブの利用希望

○小学生における平日の放課後児童クラブの利用状況をみると、「利用している」が43.9%となっています。

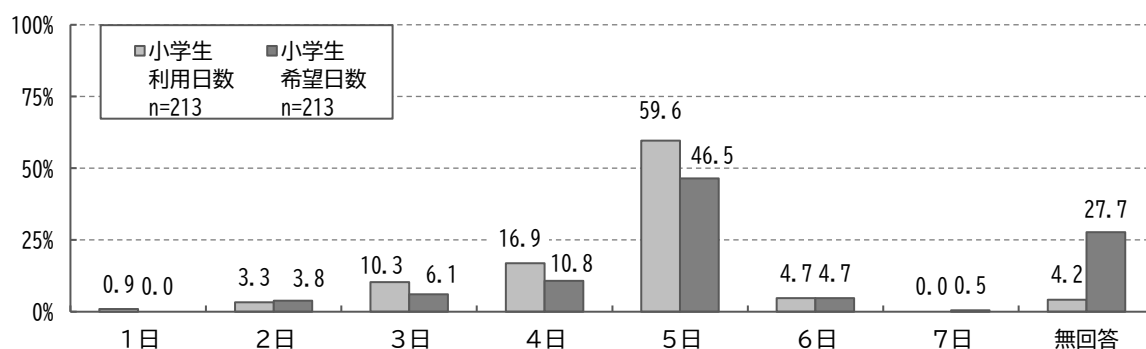
○放課後児童クラブの1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数、希望日数いずれも「5日」(利用日数59.6%、希望日数46.5%)が最も高くなっています。

○放課後児童クラブの1日当たりの利用時間と希望時間をみると、利用時間では「2時間」(39.4%)が、希望時間では「3時間」(23.5%)が最も高くなっています。

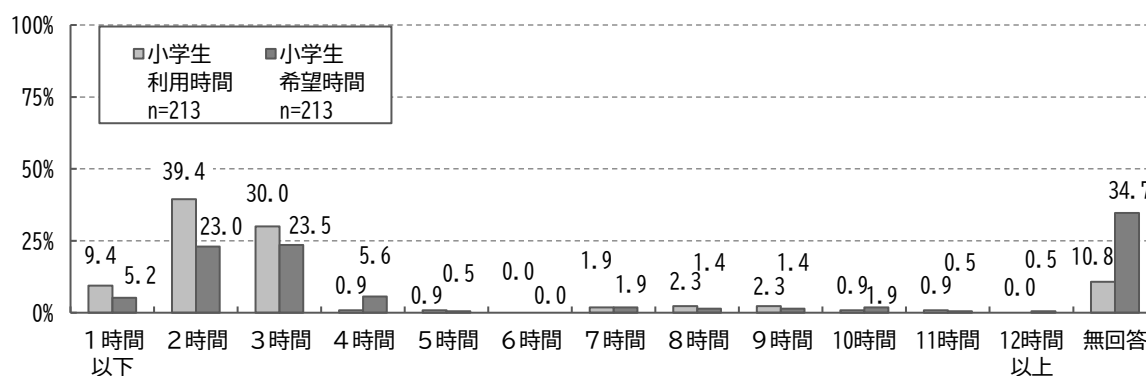
〔問9〕 放課後児童クラブを利用しているか



〔問9-1(1)(2)〕 放課後児童クラブの利用日数と希望日数(1週当たり)



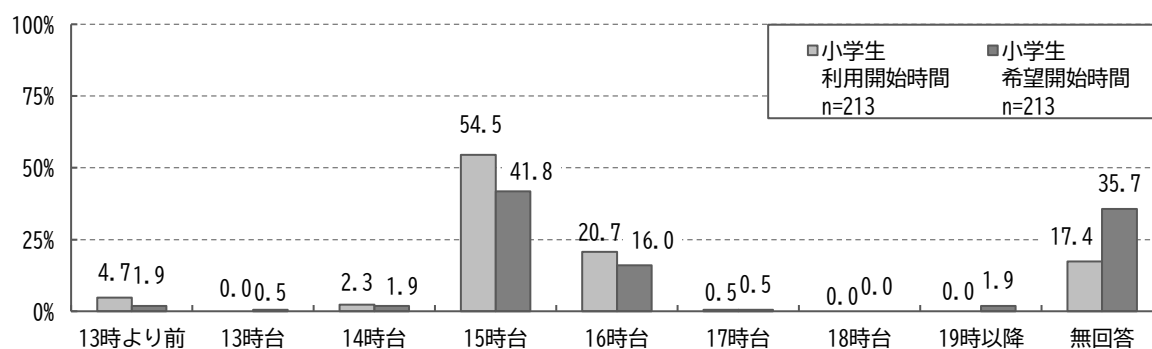
〔問9-1(1)(2)〕 放課後児童クラブの利用時間と希望時間(1日当たり)



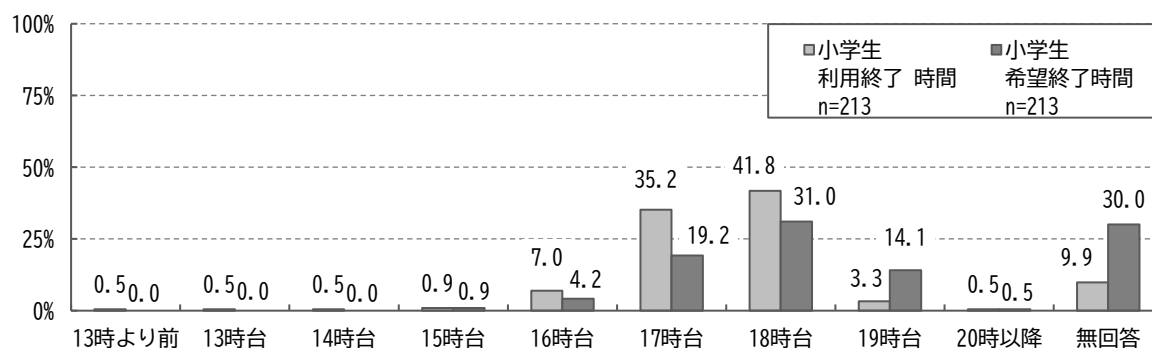
○放課後児童クラブの開始時間と希望開始時間をみると、利用開始時間、希望開始時間いずれも「15時台」（利用開始時間54.5%、希望開始時間41.8%）が最も高く、次いで「16時台」（利用開始時間20.7%、希望開始時間16.0%）となっています。

○放課後児童クラブの利用終了時間と希望終了時間をみると、利用終了時間、希望終了時間いずれも「18時台」（利用終了時間41.8%、希望終了時間31.0%）が最も高く、次いで「17時台」（利用終了時間35.2%、希望終了時間19.2%）となっています。

〔問9-1(1)(2)〕 利用開始時間 希望開始時間



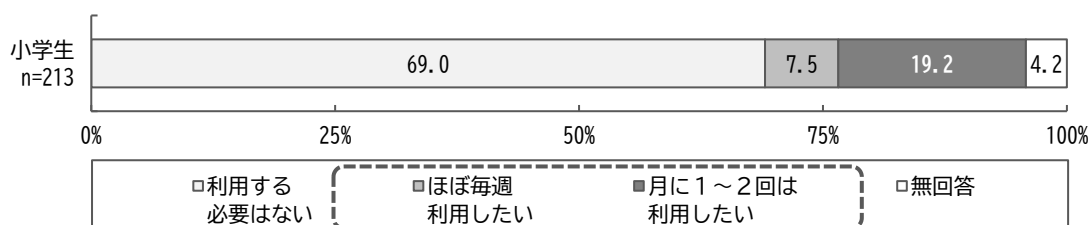
〔問9-1(1)(2)〕 利用終了時間 希望終了時間



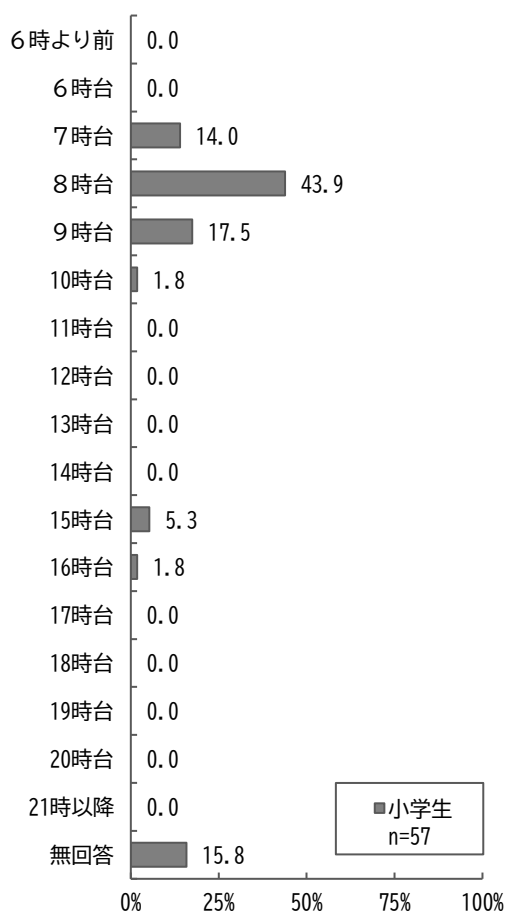
○土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(7.5%)、「月に1～2回は利用したい」(19.2%)となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(43.9%)、終了時間で「18時台」(24.6%)が最も高くなっています。

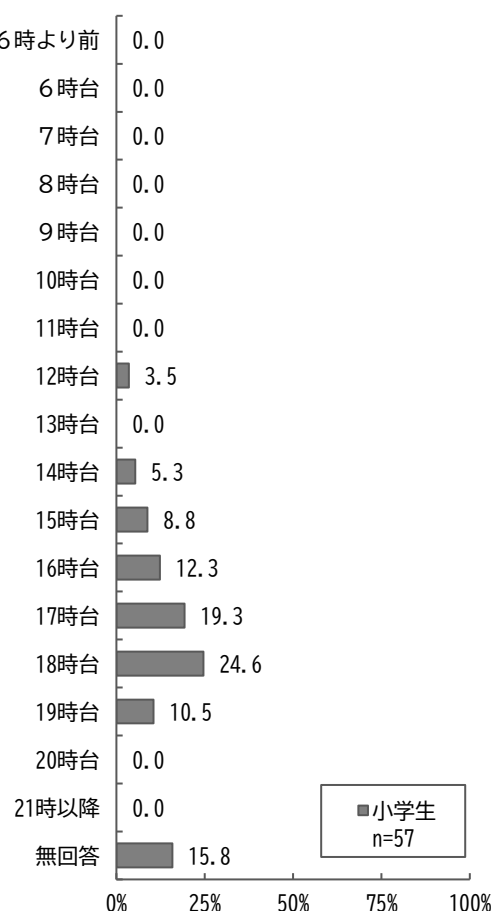
〔問9-2(1)〕 土曜日の利用希望



〔問9-2(1)〕 希望開始時間



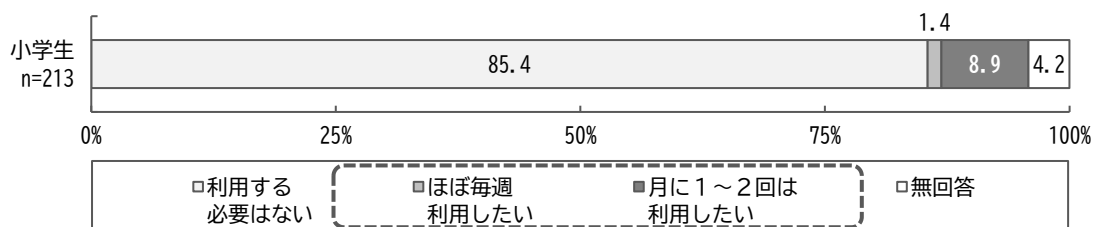
〔問9-2(1)〕 希望終了時間



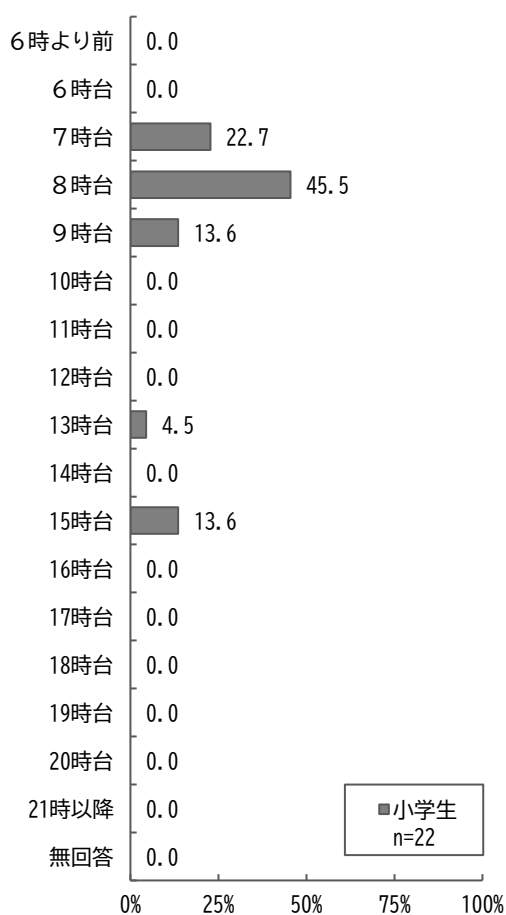
○日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(1.4%)、「月に1～2回は利用したい」(8.9%)となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(45.5%)、終了時間で「18時台」(36.4%)が最も高くなっています。

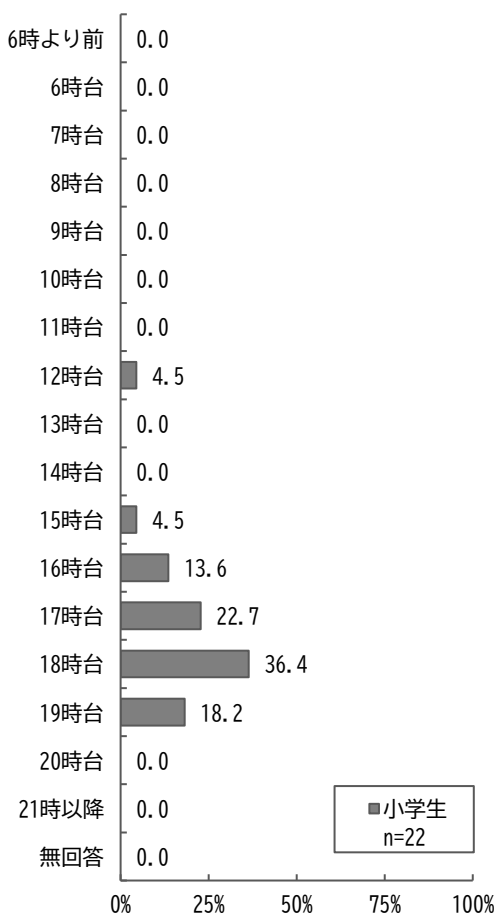
〔問9-2(2)〕 日曜日・祝日の利用希望



〔問9-2(2)〕 希望開始時間

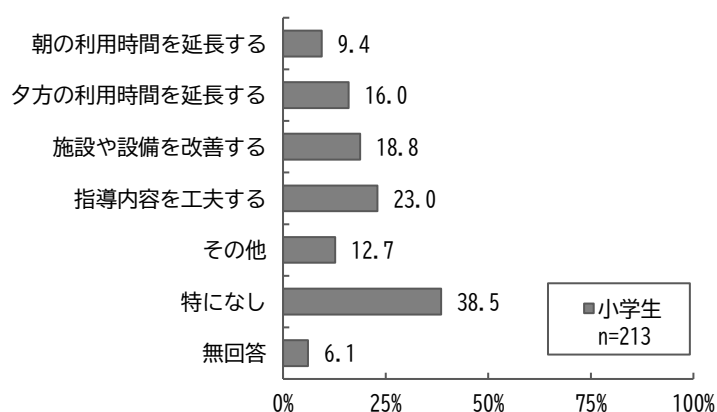


〔問9-2(2)〕 希望終了時間

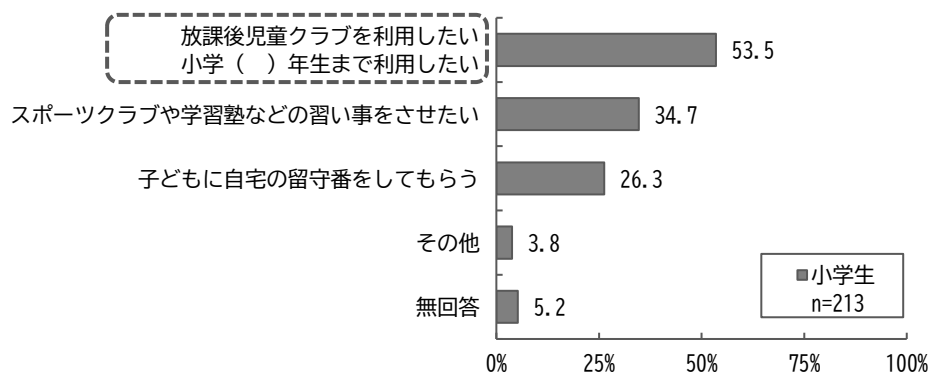


- 放課後児童クラブを利用している方に、放課後児童クラブに希望することを聞いてみると、「指導内容を工夫する」(23.0%)が最も高くなっています。
- 今後の放課後の過ごし方について望むことをみると、「放課後児童クラブを利用したい」(53.5%)が最も高く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(34.7%)となっています。
- 放課後児童クラブを何年生まで利用したいかについてみると、「6年生」が5割以上となっています。

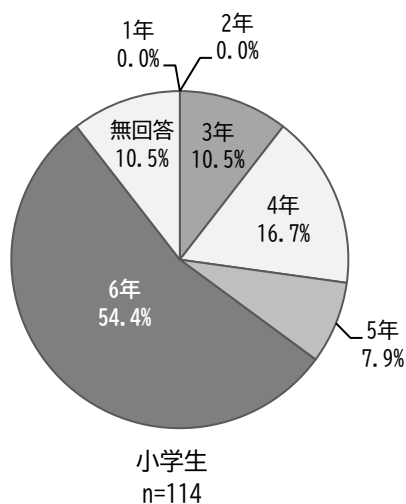
〔問9-3〕 放課後児童クラブに希望すること



〔問9-4〕 今後の放課後の過ごし方について望むこと

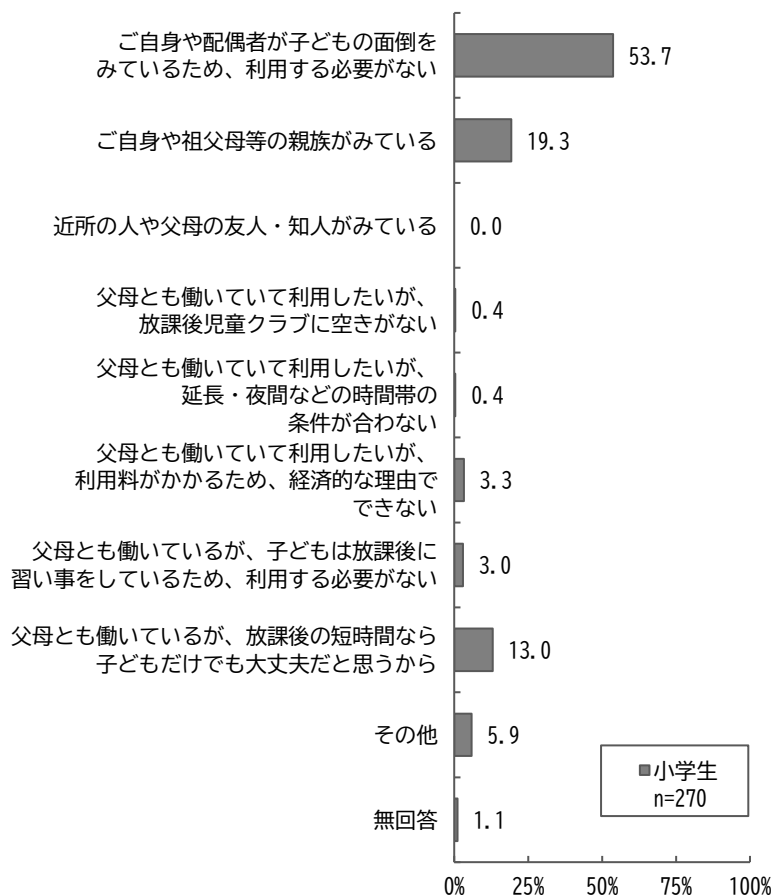


〔問9-4(1)〕 放課後児童クラブを何年生まで利用したいか



○放課後児童クラブを利用していない方に理由ついて聞いてみると、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が53.7%となっています。

〔問9-5〕 放課後児童クラブを利用していない理由

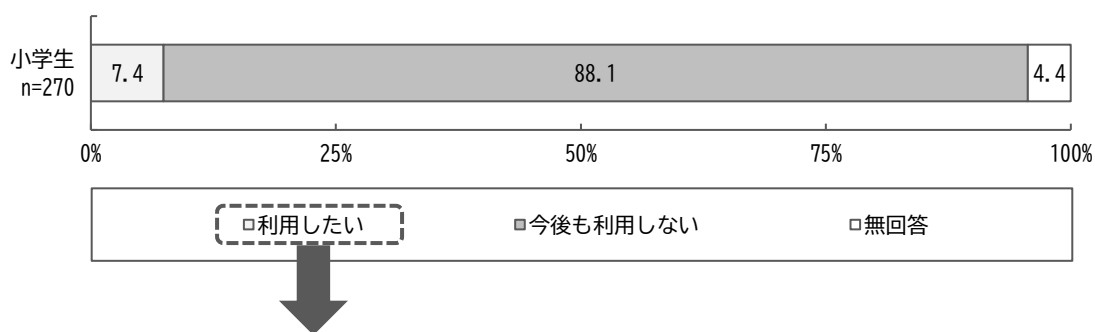


○放課後児童クラブを利用していない方に、今後父母とも働く予定があるなどの理由で、放課後児童クラブを利用したいかについてみると、「今後も利用しない」が88.1%となっています。

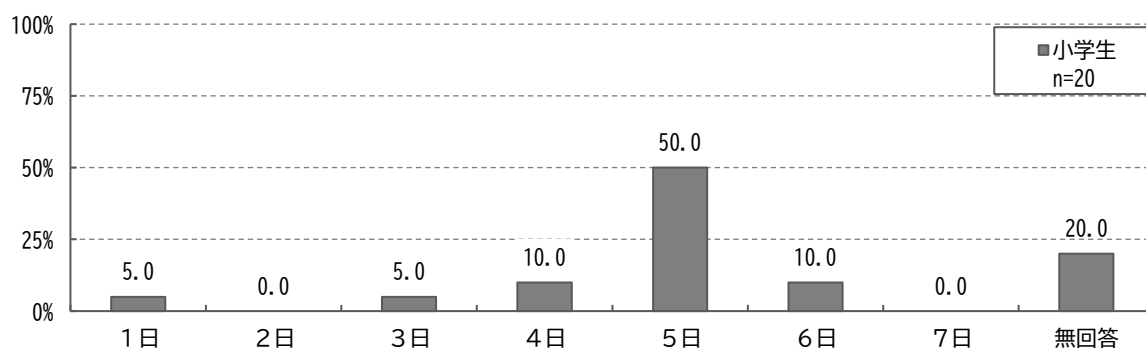
○放課後児童クラブの1週当たりの利用希望日数をみると、「5日」(50.0%)が最も高くなっています。

○放課後児童クラブの1日当たりの利用希望時間をみると、「2時間」(30.0%)が最も高く、次いで「3時間」(25.0%)となっています。

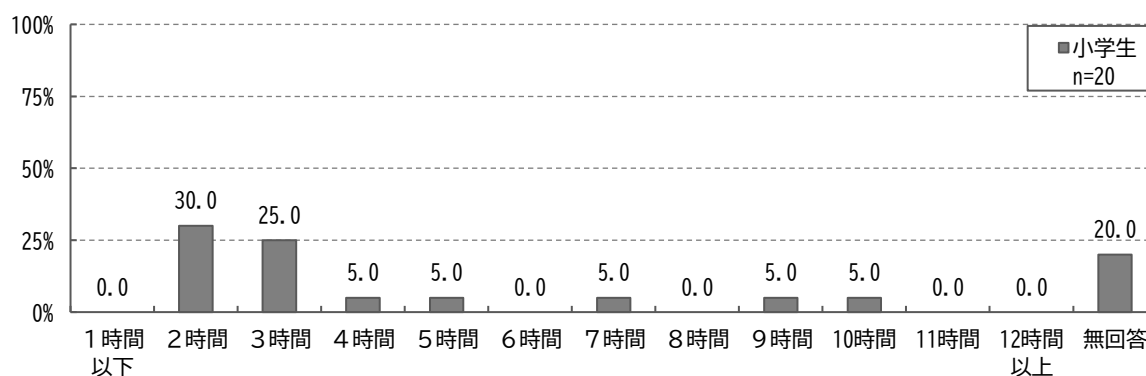
【問9-6】 今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、放課後児童クラブを利用したいか



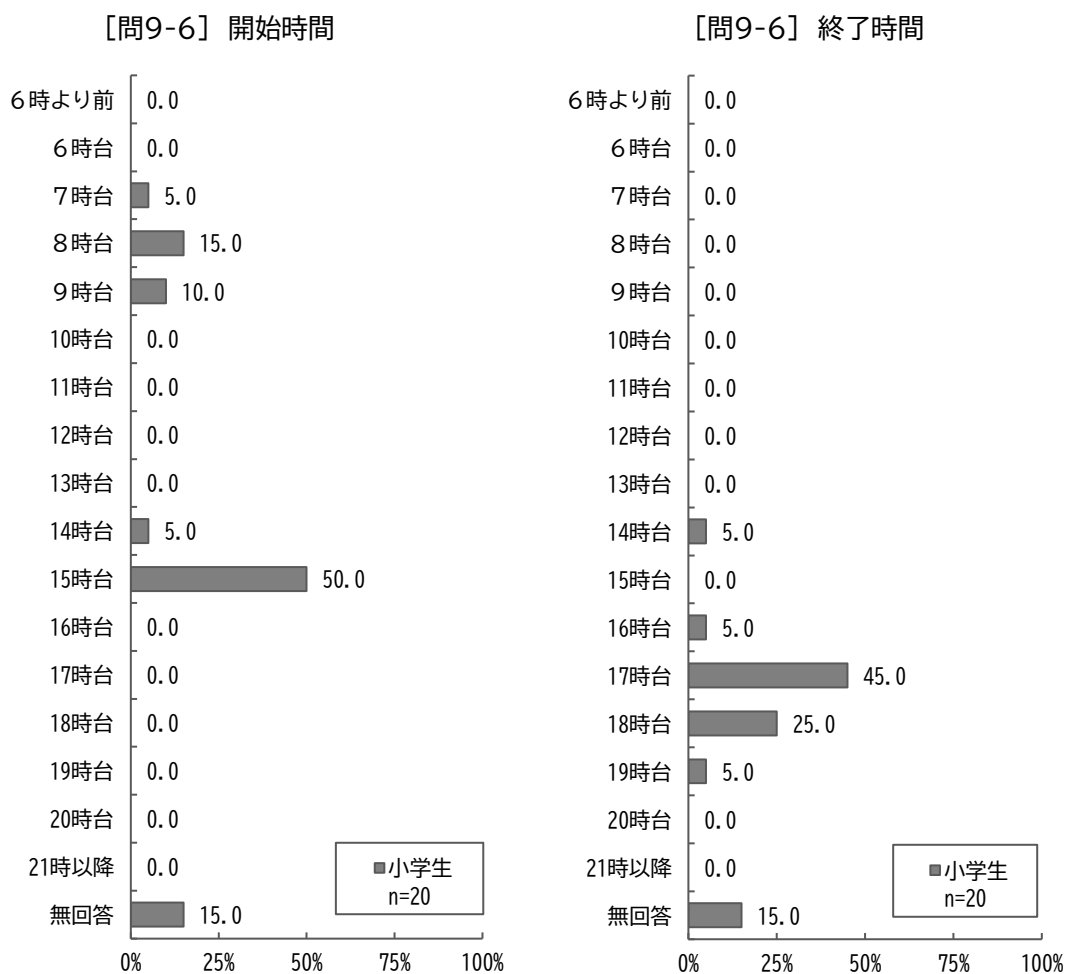
【問9-6】 放課後児童クラブの利用日数(1週当たり)



【問9-6】 放課後児童クラブの利用時間(1日当たり)

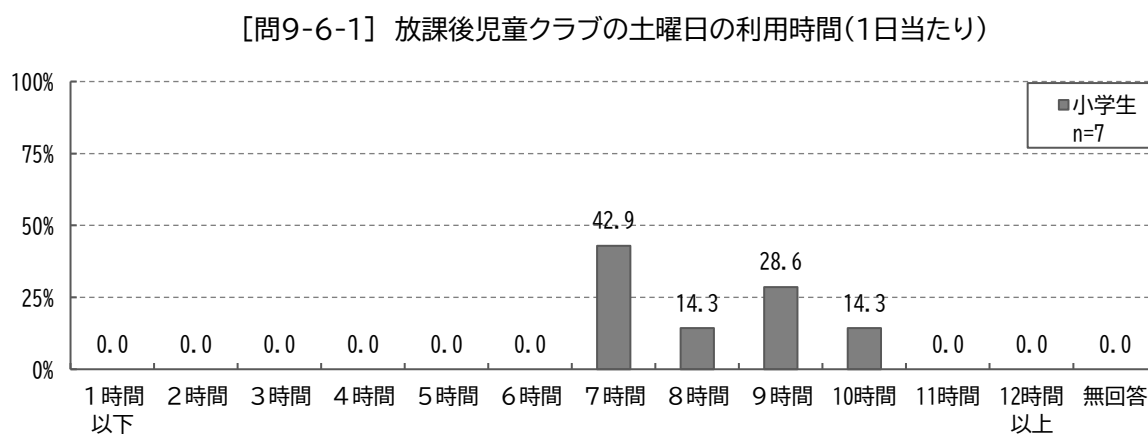
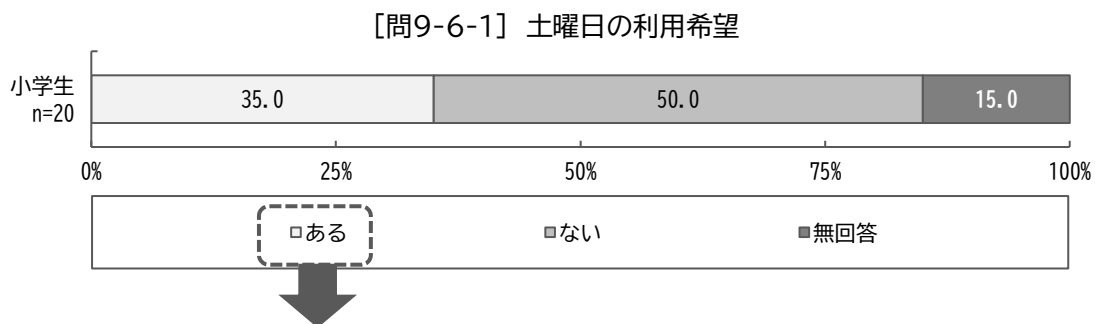


○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「15時台」(50.0%)、終了時間で「17時台」(45.0%)が最も高くなっています。



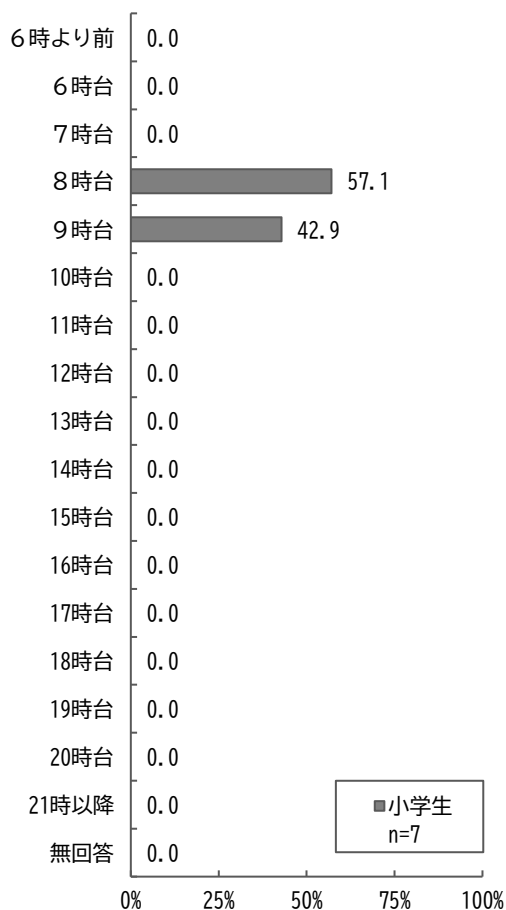
○放課後児童クラブの土曜日の利用意向をみると、「ある」が35.0%、「ない」が50.0%となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、「7時間」(42.9%)が最も高く、次いで「9時間」(28.6%)となっています。

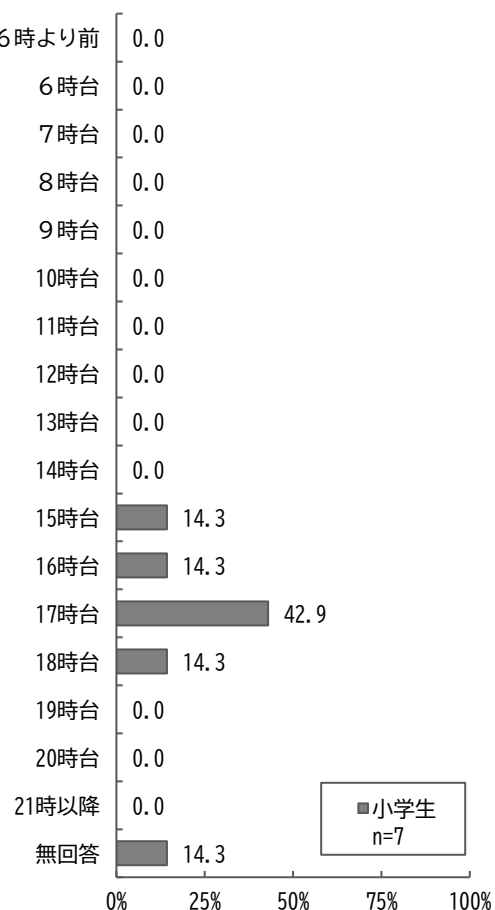


○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「8時台」(57.1%)、終了時間で「17時台」(42.9%)が最も高くなっています。

〔問9-6-1〕 土曜日の開始時間



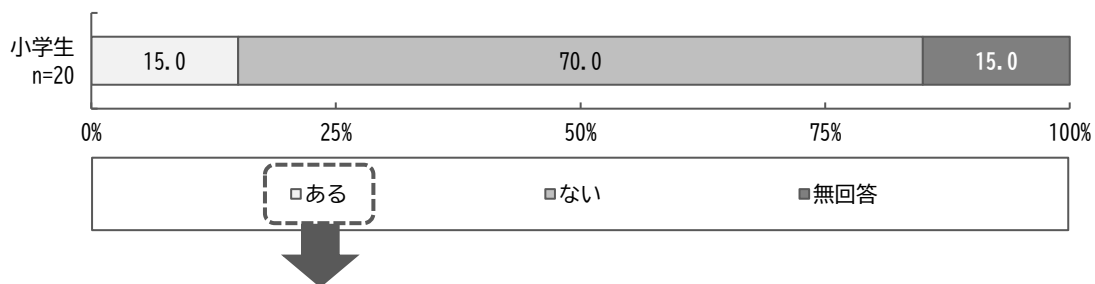
〔問9-6-1〕 土曜日の終了時間



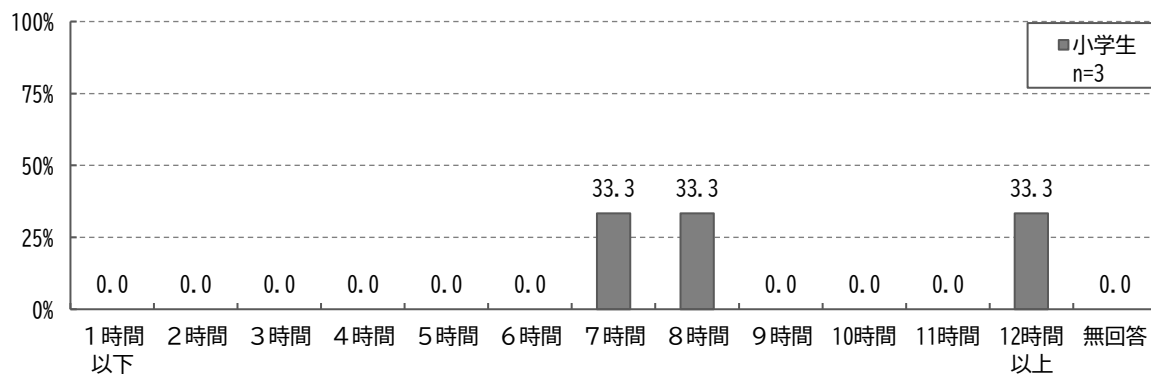
○放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用意向をみると「ある」が15.0%、「ない」が70.0%となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、「7時間」「8時間」「12時間以上」でそれぞれ33.3%となっています。

【問9-6-2】日曜日、祝日の利用希望

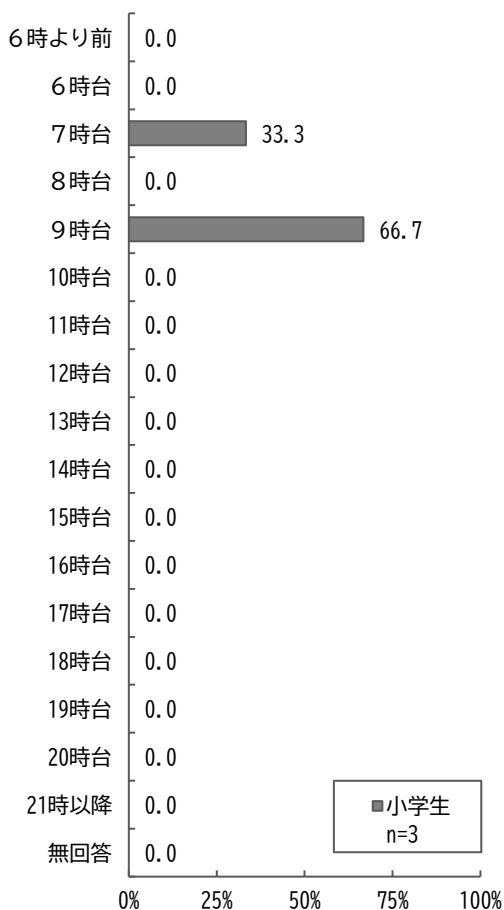


【問9-6-2】放課後児童クラブの土曜日の利用時間(1日当たり)

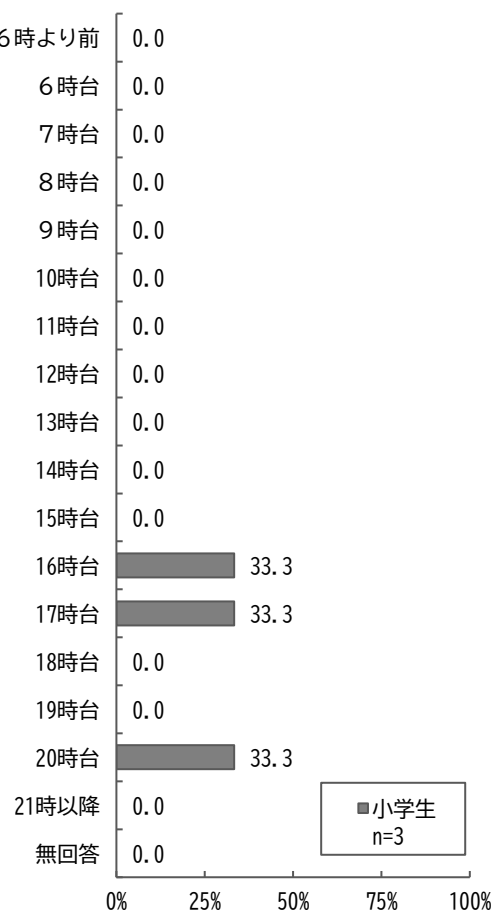


○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間で「9時台」(66.7%)、終了時間で「16時台」「17時台」「20時台」でそれぞれ33.3%となっています。

〔問9-6-2〕 日曜日、祝日の開始時間



〔問9-6-2〕 日曜日、祝日の終了時間



7 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望における分析、課題

結果1 定期的な教育・保育事業を利用していない家庭は34.2%

平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」家庭は65.1%、「利用していない」家庭は34.2%となっています。

利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（48.5%）、「利用する必要がない」（46.1%）が大半を占めています。一方で、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」（10.3%）、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」（5.5%）、「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」（1.8%）、「利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない」（0.6%）など利用希望があるにもかかわらず、利用場所や経済的な理由等によって利用に至っていない保護者がいる状況です。【問14・14-5】



前回調査（平成30年度調査）と比較すると、「利用している」家庭は、14.3^{ポイント}減少、「利用していない」家庭は13.9^{ポイント}増加しています。

以上の結果から、利用している家庭が減少傾向にあることから、保護者のニーズに即した教育・保育事業が提供できるよう、引き続き提供体制の充実に向け、検討する必要があります。

結果2 病気やケガで幼稚園・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、 母親が休んだが8割以上

病気やケガで幼稚園・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、就学前児童・では「母親が休んだ」（85.8%）が最も多く、「親族・知人に子どもとみてもらった」（41.3%）、「父親が休んだ」（38.6%）、「父親又は母親のうち就労してない方が子どもをみた」（9.1%）となっています。

父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童では約4割となっており、前回調査と比較すると、10.7^{ポイント}増加しています。【問21-1・問21-2】



以上の結果から、病気やケガをした子どもを看るのは母親の役目であるという役割意識の定着がうかがわれます。しかし、平成30年度調査結果と比較すると、就学前保護者では父親が休んだ割合が増加していることから、父親が休暇を取得しやすい職場環境づくりが徐々に始まっていると推察されます。さらに父親の育児参加の促進やワーク・ライフ・バランスの取り組みなど、父親の育児参加を促すための対策を進めていく必要があります。

結果3 子育て支援事業の認知度に対して、利用者や利用希望割合は少ない

就学前児童の保護者における子育て支援事業の認知度をみると、「パパママ教室」が74.3%、「子育て支援センターで実施する子育てに関する相談」が73.0%、「保健センターの情報・相談事業」が69.1%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が66.0%と高くなっています。

子育て支援事業の利用状況をみると、「家庭児童相談室」が3.1%と最も低く、次いで「子育て世代包括支援センター」(6.0%)となっています。また、「子育て支援センターで実施する子育てに関する相談」では認知度が73.0%と高いものの、利用割合は27.4%にとどまっています。

また、「Aisai・ママ・マルシェ」では実際の利用(11.2%)を今後の利用希望(32.8%)が21.6^{ポイント}と大きく上回っています。【問18】



以上の結果から、全体的な事業の認知は進んでいることから、今後は利用率の低い事業について利用率向上について対策する必要があります。そのため、利用率向上に向けてサービス内容をより明確に認知してもらうため、効果的な情報提供のあり方や広報の見直しをはじめ、利便性等、利用者の視点に立った事業のあり方について、引き続き検討する必要があります。

結果4 就学前児童保護者の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、低学年時の50.0%から高学年時34.4%と減少

小学校就学後の放課後の過ごし方について、就学前児童(5歳以上)の保護者の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望をみると、小学校低学年のうちは50.0%となっていますが、高学年になると34.4%と減少しています。

一方、「自宅」の希望割合は、低学年時期の45.1%から高学年時期は61.5%と16.4^{ポイント}高くなり、利用希望に変化がみられます。

「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望時間は、低学年時期、高学年時期ともに下校時から「18時台」(41.0%、35.7%)までと回答した割合が高くなっています。

土曜日、日曜日、祝日、長期休暇期間中の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望をみると、土曜日は27.0%、日曜日、祝日では17.4%、長期休暇期間中では76.1%となり、特に長期休暇期間中の利用希望が高い状況です。

【問25・問26・問27(1)(2)・問28】



以上の結果から、特に小学校低学年時の子どもの放課後の過ごし方として大きな役割を担っており、引き続き保護者のニーズを反映した運営を行うため、利用希望の高い長期休暇期間中における運営についても、検討を進め、事業内容の充実を図る必要があります。